

年 報

—昭和63年度—

VOL.7

平成2年3月

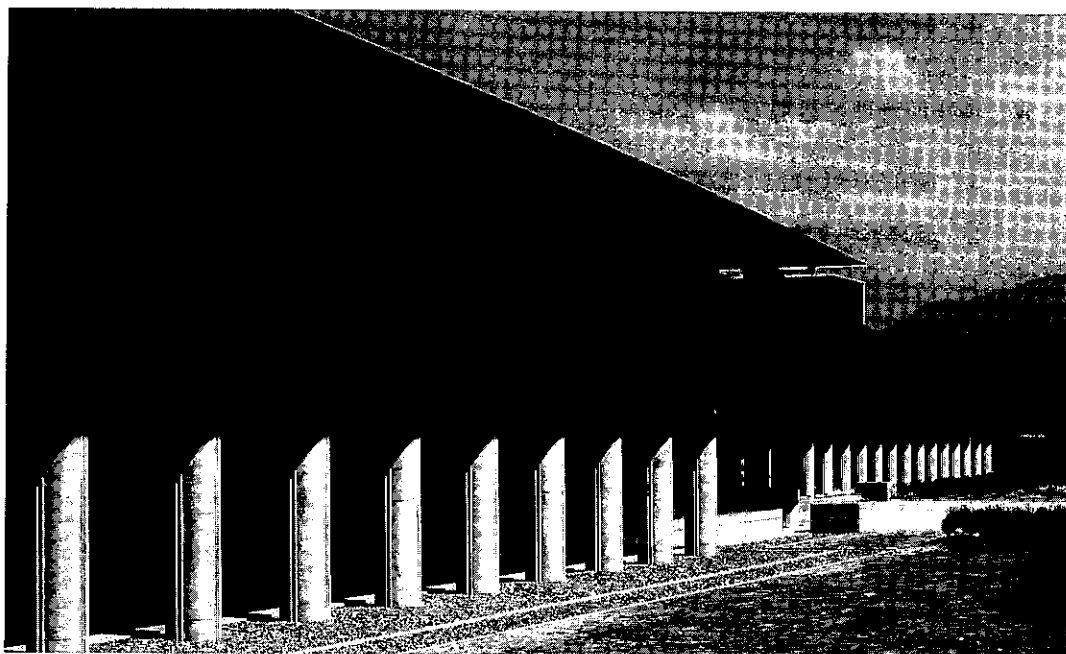
長野市立博物館

序

長野市立博物館の昭和63年4月
から平成元年3月までの活動と、
利用の状況をまとめ、ここに年報
第7号を発行します。

平成2年3月

長野市立博物館



目 次

I	博物館日誌	1
1	長野市立博物館一年の歩み	1
2	茶臼山自然史館一年の歩み	2
II	事業報告	3
1	展示活動	3
2	天体学習室	15
3	調査研究収集活動	18
4	教育普及活動	20
III	博物館収蔵資料	28
1	購入資料	28
2	寄贈資料	30
3	寄託資料	50
4	製作資料	51
IV	博物館管理・運営	52
1	昭和63年度歳出予算概要	52
2	管理委託業務	52
3	入館者状況	53
4	利用状況	57
V	彙 報	58
1	長野市立博物館協議会	58
2	組 織	59

I 博物館日誌

1 長野市立博物館1年の歩み

- 4月1日 異動により、副館長として齊藤富雄が着任
- 4月7日 季節はずれの記録的な^{かみ}上雪が降る
- 4月14日 諏訪市教育委員会一行4名視察
- 4月16日 梅がちょうど見頃で、一気に春が寄せてくる感じ
- 4月17日 収蔵資料展「節供人形とおもちゃ」開催
- 4月22日 桜の花が一気に咲き始める
- 4月24日 自然教室開講（講師 丸山利雄氏）
天体観望会開講
- 4月26日 好天気が続ぎ、桃やソルダムの花が咲き始める
- 4月27日 館田市美術博物館学芸員3名視察
- 5月1日 今年最高の入館者（726名）で終日にぎわう
- 5月4日 ゴールデンウィーク中最高の人出でにぎわう（1833名）
- 5月8日 春の星座教室開講
- 5月13日 市内小中学校の日時計写真撮影調査
- 5月15日 自然教室開講（講師 丸山利雄氏）
- 5月17日 八王子市議会議員一行14名視察
- 5月28日 プラネタリウム夏の番組「真夏の夜の太陽くん」投影開始
- 5月31日 西町西方寺本堂鬼瓦寄贈受入
- 6月1日 1998年冬季オリンピック国内候補に長野市が決定、中国遼寧省教育視察訪日団一行7名来館
- 6月5日 自然教室開講（講師 丸山利雄氏）
- 6月15日 県教育委員会5名視察
- 6月28日 副館長が社会教育委員会に出席
- 7月3日 企画展「時と太陽の物語」開催（8月28日まで）
- 7月7日 日本博物館協会北信越支部総会のため館長出張、所沢市教育委員会職員視察
- 7月12日 長野市篠ノ井犬石地区民俗調査（7月18日まで）
- 7月16日 長野県伊那文化会館プラネタリウム担当者視察
- 7月21日 県議会文教委員会一行13名視察
- 7月26日 博物館実習生5名受入（7月31日まで）、明治大学大室古墳群調査団一行19名来館、8月11日まで調査実施
- 7月30日 プラネタリウムコンサート開催
- 7月31日 民俗学講演会（講師 齊藤武雄氏）
- 8月1日 平年より13日遅い梅雨明け
- 8月6日 日時計作り教室開講
- 8月7日 考古学講座開講（講師 大塚初重氏）
- 8月13日 前庭日時計の銅盤の南北を子午線に合わせ設置
- 8月14日 企画展記念講演会（講師 北野進氏）
- 8月18日 豊橋市議会議員一行20名視察
- 8月19日 前庭の日時計が完成
- 8月20日 天体観望会開講、国立科学博物館佐々木勝浩氏、富山市科学文化センター渡辺学芸員来館
- 8月21日 企画展催し物和时间分解・修理実演実施（講師 関喬氏）
- 8月26日 埼玉県毛呂山町教育委員会一行5名視察、千葉市立郷土博物館学芸員、新湊市教育委員会一行4名来館
- 8月28日 民俗学教室（講師 麻場長男氏）
- 8月30日～9月3日 企画展借用資料返却
- 9月3日 新発田市博物館建設調査特別委員会一行3名視察
- 9月4日～6日 五藤光学プラネタリウム信号増設工事実施
- 9月7日～20日 秋の企画展資料借用のため県内及び県外へ出張（山口・安室・唐沢・中島）
- 9月9日 府中市博物館職員プラネタリウム視察
- 9月11日 プラネタリウムにて夏の星座教室開講
- 9月23日 開館7周年記念日につき無料開放、

館長記念講演、プラネタリウム秋の番組「賢二と小夜子迷コンビの火星調査」投影開始
 10月2日 企画展「信玄と謙信」開催（11月23日まで）
 10月18日 富士宮市・塩沢町・大田区の各議員一行視察
 10月22日 歴史講座開講（4回連続）
 10月28日 明治大学大室古墳群補充調査（11月2日まで）
 10月29日 プラネタリウムコンサート開催、京都大学東南アジア研究センター高谷好一氏・古川久雄氏来館
 10月30日 企画展記念講演会「中世における甲冑の変遷」（講師 宇田川武久氏）
 11月1日 京都国立博物館工芸室長河原正彦氏来館
 11月2日 埼玉県博物館連絡協議会一行30名来館
 11月10日 日本博物館協会大会のため館長宇都宮に出張
 11月13日 秋の星座教室開講
 11月26日～12月7日 企画展借用資料返却
 12月10日 天体観望会開講
 12月17日 プラネタリウムコンサート開催（クリスマスソング特集）
 12月18日 ダイヤモンドダストを観測
 12月24日 プラネタリウム冬の番組「シリウスは赤かった!?」投影開始、公園内で弱っているタヌキを捕獲、動物園に手当依頼
 12月25日 常設展示室2階民家内にてもちつき

12月27日 八十二文化財団職員4名視察
 12月28日 仕事納め
 1月4日 仕事始め
 1月7日 元号が「平成」となる
 1月22日～28日 館内くん蒸のため休館
 2月3日 中野市建設部職員プラネタリウム視察
 2月4日 歴史講座開講（3回連続）
 2月5日 プラネタリウム内で冬の星座教室開講
 2月9日 長野市生涯学習推進委員会に副館長出席
 2月11日 天体観望会開講
 2月23日 長野県埋蔵文化財センター市村調査研究員が漆紙文書赤外線調査のため来館
 2月26日 企画展「生活用具―新収蔵資料より―」開催（5月21日まで）
 3月14日 国立科学博物館文部技官2名施設を視察
 3月18日 プラネタリウム春の番組「勘三郎とヘラクレスじいさん」投影開始
 3月23日 定例市議会産業教育委員会に副館長出席
 3月24日 人事異動内示
 3月25日 プラネタリウムコンサート開催
 3月26日 福岡市博物館庶務課長三宅安吉氏視察
 3月29日 八王子市郷土資料館学芸員土井義夫氏・佐藤広氏来館
 3月31日 掛川館長本日を持って勇退

2 茶臼山自然史館1年の歩み

4月1日 小池清典が退職、後任に坂口昭三が着任
 4月17日 上越教育大学中川先生来館
 4月29日 第3回企画展「長野市西部山地の海の貝」開催（11月23日まで）
 5月29日 第1回地質教室開講、参加者15名
 6月4日 展示ケース（5個）ができ上り、岩石展示、更埴市屋代小島の小出久和氏より化石借用し、展示
 6月23日 塩ノ入忠雄氏来館

7月15日 受付の窓口改造
 8月2日 第2回地質教室 参加者21名
 8月5日 第3回地質教室 参加者14名
 1月18日 稲森潤氏より岩石標本250種類寄贈（ダンボール箱6個）
 2月16日 唐沢主事いわき市博物館視察研修
 3月15日～16日 菅平・須坂・若穂・松代等において岩石採集（唐沢・塩入）
 3月29日 戸隠・芋井・小田切にて岩石採集（唐沢・塩入）

II 事業報告

1 展示活動

企画展示

1) 第19回企画展「節供人形とおもちゃ」

- (1) 期間 昭和63年4月17日～6月12日
(実質開館日数48日)

- (2) 出版物 B 4判両面刷ニツ折パンフレット

- (3) 趣旨 昭和62年度までに博物館に寄贈・寄託された資料の中から、とくに子どもの遊戯具や郷土玩具に焦点をあてて展示公開する。

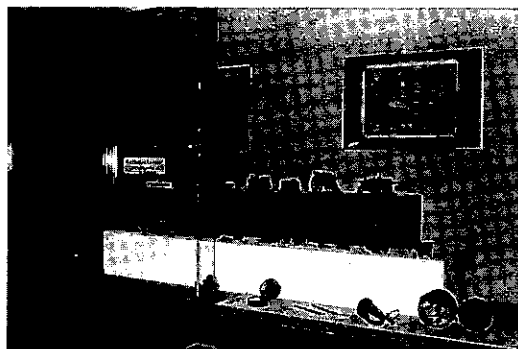
また賛助出品資料として、土びなを中心とした人形のコレクションと明治大正時代のおもちゃのコレクションも展示する。

- (4) 展示構成

- ① 節供人形 ② 遊戯具
③ 娯楽 ④ 郷土玩具

- ⑤ 賛助出品資料(夏目隆一氏及び田中太郎氏コレクション) 196点

- (5) 資料点数 835点



「節供人形とおもちゃ」展

(6) 展示資料目録

(敬称略)

№	資料名	点数	寄贈者	№	資料名	点数	寄贈者
1	三月人形(壇飾り)	一式	八田 勇	26	スキー	1	酒井 英知
2	"(内裏びな)	一対	"	27	"	1	若林 典寿
3	"	一対	倉島 忠義	28	"	1	大室 昂
4	"	一対	北沢 昭男	29	ストック	1	美谷島今朝雄
5	"	一対	宮下 つや	30	ソリ	1	酒井 英知
6	"(藤 娘)	1	柳島 皇	31	輪まわし	2	小川 つね
7	"(汐くみ)	1	"	32	"	1	和田 康雄
8	五月人形(七本立飾り)	一式	八田 勇	33	たこ	1	小池 万吉
9	"(神功皇后と武内宿禰)	1	"	34	こま	1	若林 典寿
10	"(金太郎)	1	柄沢卿太郎	35	"	1	荒井千代忠
11	"(かぶと差)	1	"	36	パッチン	75	岡宮憲太郎
12	"(武者人形)	1	柳島 皇	37	"	50	当館所蔵
13	"(浦島太郎)	1	宮下 つや	38	ペーパーおこし	130	大室 昂
14	"(小野道風)	1	"	39	カタカタ(歩行機)	1	山口 純一
15	下駄スケート	1	北沢 正美	40	将棋盤	1	和田 博
16	"	1	栗林 亨	41	紙しばい	1	長野市清掃工場
17	"	1	塩野入希幸	42	幻燈機	1	磯野 謙介
18	"	1	春原 和昭	43	幻燈機フィルム	3	"
19	"	1	西村 武	44	けん玉	1	当館所蔵
20	"	1	野口 市雄	45	おはじき	50	"
21	"	2	藤森 治幸	46	お手玉	10	"
22	"	2	松本 才徳	47	竹馬	1	"
23	竹スキー	2	西沢 武彦	48	双六	4	"
24	"	1	藤森 治幸	49	十二支あわせ	1	"
25	"	1	美谷島今朝雄	50	郷土玩具コレクション(宮沢憲衛氏)	271	宮沢 長平
※賛助出品 土人形コレクション 136点				夏目隆一氏(長野市)			
明治・大正の 60点				田中太郎氏(須坂市)			
おもちゃコレクション							

2) 第20回企画展

「時と太陽の物語-日時計から原子時計まで」

(1) 期間 昭和63年 7月3日～8月28日

(実質開館日数 49日)

(2) 出版物 A2判多色刷ポスター・A4判
二ツ折リーフレット・B5判展示解説図
録88頁(頒価500円)

(3) 趣旨 時刻・時間の概念は私達の生活になくはないものである。昔はそれがかなり大雑把なものであったが、現在はセシウム原子の振動数をもとにした原子時計によって極めて正確に定義されている。しかし、原子時計で定義された1秒を積み重ねていって、60秒、60分、24時間、365日……と続けていくと次第に太陽とずれが生じ、やがて正午(12時)に太陽が昇ってくるという奇妙なことになる。これは、太陽の動きが一定ではないため(地球の自転・公転が不均一だから)である。そこで、生活慣習上いつもま昼ごろ太陽が真南付近の空へ来るようにうる日やうる秒を設け、時計の方を太陽の動きに合わせている。

このことは、人類最古の時計である「日時計の時代から、水時計(漏刻)そして和時計の時代においても同じで、太陽や星の観測によって時刻を調整していた。つまり、時刻とは太陽とのつき合いでもある。

当館では太陽黒点観測8年目を迎えるに当り、時刻制度を通じて時と太陽とのかわりを展示するものである。

(4) 展示構成

① 時の発生

時刻を知りたい・日時計・世界の日時計・日本の日時計

② 日本の時刻制度

漏刻・江戸時代までの時刻・江戸時代の時刻(和時計と不定時法など)・時を告げる鐘・ドン・江戸時代の天体観測と改暦・明治5年の改暦・明治以後の時計

③ 太陽と時刻の科学

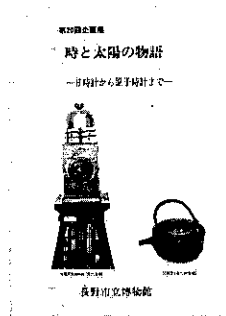
現代の日時計・太陽の科学・信州の太陽観測家



ポスター



パンフレット



図録



「時計師」ジオラマ

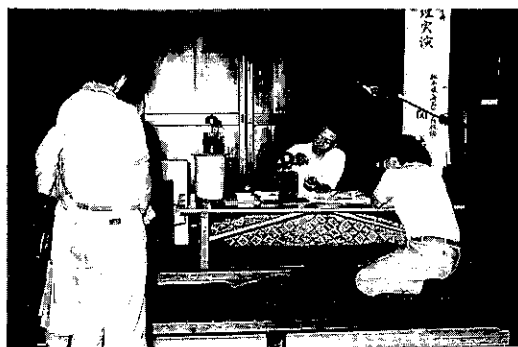


江戸時代の時刻(和時計)

- ④ 最新の時刻制度
- (5) 資料点数 126点
- (6) 視聴覚資料
- ① ビデオ…太陽黒点の移動とプロミネンスの活動（長野市少年科学センター提供）
- ② 16mm映画…「太陽と月」他
- (7) 催し物
- ① 日時計作り教室…8月6日(土)
講師…関舜衛氏（日本天文学会会員）
- ② 記念講演会…8月14日(日)
講師…北野進氏（池田工業高等学校校長）
- ③ 実演「和時計の分解・修復・構造の説明」…8月21日(日)
実演者…関喬氏（松本蟻ヶ崎高等学校教諭）

(8) 記念製作

博物館前庭に直径60cmの水平型日時計を設置（設計者…関 舜衛氏）



和時計の分解・修理の実演

(9) 展示資料目録

(敬称略)

№	資 料 名	点数	所 蔵 者	所 在 地
1～3	日時計	3	後 藤 晶 男	奈良県奈良市
4	日時計（アメリカ製）	1	〃	〃
5～9	日時計	5	セイコー時計資料館	東京都墨田区
10	日時計	1	関 喬	松本市横田
11	日時計	1	個 人 蔵	
12	日時計（鉄びん）	1	近 江 神 宮	滋賀県大津市
13	矢橋式日照真南北計	1	〃	〃
14	胝景規（よつのしるべ）	1	高 樹 文 庫	富山県新湊市
15	文鎮日時計	1	第一ネームプレート工業社	長野市稲里町
16	漏刻の図	1	近 江 神 宮	滋賀県大津市
17	和時計（掛時計）	1	関 喬	松本市横田
18	〃（ 〃 ）	1	徳 音 寺	木曽郡日義村
19	〃（ 〃 ）	1	平 野 喬 平	木曽郡檜川村
20	〃（ 〃 ）	1	林 昌 寺	木曽郡日義村
21	〃（ 〃 ）	1	関 喬	松本市横田
22	〃（台時計）	1	〃	〃
23	〃（檣時計）	1	善光寺 大勸進	長野市元善町
24	〃（台時計）	1	個 人 蔵	
25	〃（檣時計）	1	海 禅 寺	上田市中央
26	〃（ 〃 ）	1	松 本 館	松本市丸ノ内
27	〃（ 〃 ）	1	東 漸 寺	塩尻市洗馬
28	〃（ 〃 ）	1	関 喬	松本市横田

No.	資 料 名	点数	所 蔵 者	所 在 地
29	和時計（櫓時計）	1	宮 尾 芳 一	長野市川中島町
30	〃（台時計）	1	個 人 蔵	
31	〃（尺時計）	1	近 江 神 宮	滋賀県大津市
32～34	〃（ 〃 ）	3	個 人 蔵	
35	〃（ 〃 ）	1	松 本 館	松本市丸ノ内
36	〃（枕時計）	1	国立科学博物館	東京都台東区
37	〃（印籠時計）	1	〃	〃
38	復原二挺天府櫓	1	〃	〃
39	日時計付万歩計	1	個 人 蔵	
40	時計関係図面等	1 式	〃	
41	和時計（掛時計）	1	原 彰 一	飯田市大横町
42	〃（櫓時計）	1	古 川 寺	東筑摩郡朝日村
43	時計師の仕事机及び道具・和時計部品	1	関 喬	松本市横田
44	和時計の部品・やすり・道具	1 式	〃	〃
45	鍛冶道具	1 式	長野市立博物館	
46	あんどん	1	上 野 千 鶴 子	長野市若穂
47	香盤時計	1	海 禅 寺	上田市中央
48	〃	1	和 田 こぎく	長野市若槻
49	時計師看板	1	松本市立博物館	松本市丸ノ内
50	豆ランプ（重要有形民俗文化財）	1	日本のあかり博物館	上高井郡小布施町
51	砂時計	1	小 田 幸 子	東京都墨田区
52	火時計模型	1	近 江 神 宮	滋賀県大津市
53	香盤時計	1	往 生 寺	長野市往生地
54	天体中星儀	1	松代藩文化施設管理事務所	長野市松代町
55	和ろうそくの芯切り道具	1	善 光 寺	長野市元善町
56	海津旧顕録	1	松代藩文化施設管理事務所	長野市松代町
57	香時計の型	1	須坂市立博物館	須坂市小山
58	掛時計（アメリカ製）	1	西 貝 徳 之 助	須坂市新町
59	鐘楼の位置図	1	〃	〃
60	原町問屋日記	1	滝沢助右衛門	上田市中央北
61	常香炉	1	善 光 寺	長野市元善町
62	掛時計（アメリカ製）	1	天 然 寺	下高井郡木島平村
63	和時計（掛時計）	1	行 善 寺	上水内郡信濃町
64～65	掛時計（アメリカ製）アンソニア	2	〃	〃
66	正時版（富山県指定文化財）	1	高 樹 文 庫	富山県新湊町
67	象限儀（ 〃 ）	1	〃	〃
68	平天儀（富山県指定文化財）	1	〃	富山県新湊町
69	新製平天儀（ 〃 ）	1	〃	〃
70	測量用台付磁石	1	松代藩文化施設管理事務所	長野市松代町
71	天文分野の図	1	千葉市立郷土博物館	千葉県千葉市
72	渾天儀（複製）	1	〃	
73	アストロラブ（全円儀）	1	国立歴史民俗博物館	千葉県佐倉市
74	高度計	1	〃	〃
75	経緯儀	1	〃	〃

№	資 料 名	点 数	所 蔵 者	所 在 地
76	大方儀	1	国立歴史民俗博物館	千葉県佐倉市
77	小方儀 (伊能家)	1	〃	〃
78	象限儀	1	〃	〃
79	伊勢暦	1 式	長野市立博物館	
80	〃	1 式	〃	
81	青標紙 前編 (時刻取方の例)	1	〃	
82	改暦弁	1	松本市立博物館	松本市丸ノ内
83	詔書写 (太陽暦頒行につき太政官布告)	1	内 田 雅 雄	長野市箱清水
84	略歴	1	長野市立博物館	
85~86	頒暦略歴	1 式	上 野 千 鶴 子	長野市若穂
87~88	懷中時計	2	近 江 神 宮	滋賀県大津市
89	懷中時計	1	行 善 寺	上水内郡信濃町
90	懷中時計	1	徳 成 孝 一	長野市小島田町
91	交番時計	1	近 江 神 宮	滋賀県大津市
92	置時計	1	宮 尾 芳 一	長野市川中島町
93~100	掛時計	8	長野市立博物館	
101	掛時計	1	小 林 一 計	長野市浅川
102	掛時計	1	最 勝 院	長野市元善町
103	置時計	1	関 喬	松本市横田
104	掛時計	1	西 沢 千 秋	長野市吉田
105	掛時計	1	善光寺 大勸進	長野市元善町
106	日時計模型	1	長野市立博物館	
107	太陽模型	1	川口市児童文化センター	埼玉県川口市
108	クロノメーター	1	東 京 天 文 台	東京都三鷹市
109	P Z T 写真乾板	1	〃	〃
110	原子時計位相比較記録	1	〃	〃
111	望遠鏡 (国友一貫斎作)	1	上田市立博物館	上田市二の丸
112	望遠鏡筒先図 (複製)	1	市立長浜城歴史博物館	滋賀県長浜市
113	月面観測図 (複製)	1	〃	〃
114	星之図 (複製)	1	〃	〃
115	日月星業試留 (複製)	1	〃	〃
116~117	太陽黒点観測図 (複製)	2	〃	〃
118	テレスコップ望遠月木星試 (複製)	1	〃	〃
119	望遠鏡 (三澤勝衛使用)	1	諏訪清陵高等学校	諏訪市清水
120	太陽観測記録用印板	1	〃	〃
121	大正10年太陽観測記	1 式	〃	〃
122	太陽観測報告	1 式	〃	〃
123	太陽観測スケッチ	1 式	〃	〃
124	〃	1 式	田 中 静 人	北佐久郡望月町
125	〃	1 式	藤 森 賢 一	諏訪市小和田
126	皆既日食スケッチ	1	〃	〃
127	蝶型図	1	〃	〃
	ビデオテープ (太陽黒点とプロミネンス)		長野市少年科学センター	長野市城山
	〃 (白色フレア)		藤 森 賢 一	諏訪市小和田

3) 第21回企画展

「信玄と謙信―川中島の合戦とその周辺―」

(1) 期間 昭和63年10月2日～11月23日

(実質開館日数44日)

(2) 出版物 A 2判多色刷ポスター

A4判両面刷ニツ折パンフレット

B 5判展示図録37頁

(頒価500円)

(3) 趣旨 武田氏の信濃の地への進出は信虎の時代から始まり、信玄の時代には更に領土が拡大されていく。そうした信濃への進出の総決算が「川中島の戦い」だったと言える。この企画展では「川中島の戦い」を通して、野望と戦略が渦巻く世の中を信濃の土豪や信玄・謙信がいかに生きたのかを各地の史資料や戦跡などより探る。

また武士階級のみならず戦国大名武田氏の強力な農民支配により、その戦略の中にまき込まれていく農民の姿も描き出したい。更に豊臣政権を経て、近世封建社会の新たな土地農民支配へ組み込まれていく過渡期の時代状況も展示の中で構成した。

(4) 展示構成

① 戦乱の世に生きた信玄と謙信

武田信玄・上杉謙信

② 戦いの日々

③ 両雄の対決

④ 戦乱の惨禍

(5) 資料点数 364点

(6) 催物

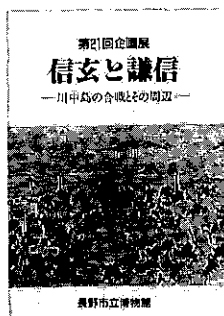
講演 「中世における甲冑の変遷」

宇田川武久氏 (国立歴史民俗博物館助教授)

10月30日(日)



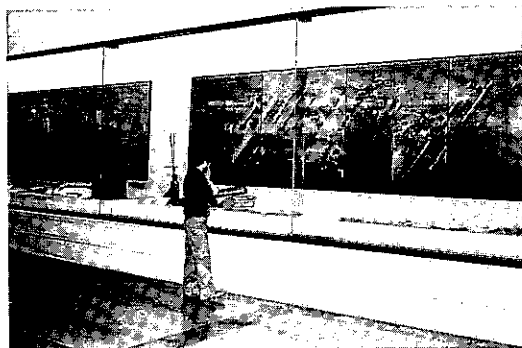
ポスター



パンフレット



図録



川中島合戦図屏風など



両雄の対決 (信玄コーナー)

(7) 展示資料目録

I 戦乱の世に生きた両雄

(敬称略)

資 料 名	点 数	所 蔵 者	備 考
躰圖ヶ崎館想像復元図	1	信玄公宝物館(飯山市)	
甲陽軍艦	20	明德寺(長野市)	青表紙
〃	5	白根桃源美術館(中巨摩郡白根町)	赤表紙
甲陽軍艦抜書	2	〃	
武田三代軍記	5	〃	
武田流兵法書	5	〃	
甲州武田家分限録	1	大日方英雄(小川村)	
武田信玄画像	1	白根桃源美術館(中巨摩郡白根町)	安藤広重画
〃	1	原昌義(長野市)	
〃	1	長岳寺(阿智村)	写真展示
〃	1	大日方英雄(小川村)	
春日山日記	32	市立米沢図書館(米沢市)	
上杉軍記	21	〃	
上杉家系図	1	佐藤博物館(豊田村)	
上杉謙信印影	13	春日山神社(上越市)	
「毘」の前立	1	林 泉 寺(〃)	写真展示
「第一義」山門額	1	〃	〃
上杉謙信画像	1	〃	〃
上杉家伝来の刀と拵(大・小)	2	江原正一郎(松本市)	拵は元禄期のもの
上杉家伝来刀掛け	1	〃	
春日山本城図	1	市立米沢図書館(米沢市)	
越州春日山城之図	1	〃	

II 戦いの日々

資 料 名	点 数	所 蔵 者	備 考
諏訪法性の兜	1	下諏訪町立博物館(下諏訪町)	写真展示
〃	1	頼岳寺(茅野市)	〃
軍 扇	1	大日方英雄(小川村)	伝信玄拝領
法螺貝	1	真田宝物館(長野市)	
陣 鐘	1	〃 (〃)	元亀2年の銘
朱鞘の太刀	1	大日方英雄(〃)	
軍配団扇	1	原 昌義(〃)	伝原虎胤所用
鎧	1	〃	〃
兜	1	〃	〃
十二間筋兜鉢	1	大須賀義高(坂城町)	伝大須賀久兵衛所用
櫓	1	〃	
三ツ鍬形台	1	長岳寺(阿智村)	写真展示
大日の丸前立	1	〃	〃
兜 鉢	1	吉池重行(長野市)	伝山本勘介所用・変わり兜
畳具足	1	山口英雄(更埴市)	
十六間阿古陀形筋兜鉢	1	国立歴史民俗博物館(佐倉市)	
三十八間金覆輪筋兜鉢	1	〃	
三十二間筋兜	1	〃	
蔦蒔絵微塵具空穂	1	〃	

資 料 名	点 数	所 蔵 者	備 考
龍虎蒔絵胴背負陣太鼓	1	国立歴史民俗博物館（佐倉市）	
黒章肩裾取威腹巻	1	〃	
紺糸威胴丸具足	1	〃	近世
鉄六十二間小星兜	1	佐藤博物館（豊田村）	
軍 采	1	〃	上杉家伝来
〃	1	宮坂考古館（米沢市）	
黒逆頬籠	1	佐藤博物館（豊田村）	上杉家伝来・近世
軍配団扇	1	〃	上杉家伝来・伝上杉謙信所用
素懸紫糸威黒五枚胴具足	1	宮坂考古館（米沢市）	山形県指定文化財・伝上杉憲政所用
陣幕家紋	1	〃	竹に雀
陣中胴着	1	〃	伝上杉謙信所用
火縄銃	1	〃	米沢藩・上杉景勝時代のもの
法螺貝	1	〃	伝川中島合戦使用
紺地朱の日の丸扇面馬鞍	1	佐藤博物館（豊田村）	伝川中島合戦使用・写真展示
孫子の旗	1	雲峰寺（塩山市）	塩山市指定文化財
諏訪法性旗	1	〃	〃
大文字旗	1	大日方英雄（小川村）	
旗指物馬鞍図	9	市立米沢図書館（米沢市）	近世
「毘」の軍旗	1	林泉寺（上越市）	上杉謙信所用・複製
「龍」の軍旗	1	〃	〃
「刀八毘沙門」の軍旗	1	〃	〃
毘沙門天像	1	大日方英雄（小川村）	持仏
不動尊像	1	〃	〃
鎧不動尊像	1	大須賀義高（坂城町）	
中将姫御名号	1	〃	
武田流立備之図	1	信玄公宝物館（塩山市）	塩山市指定文化財
諸国古城信濃城々並備立図	72	大日方英雄（小川村）	
牧ノ島古城図	2	〃	
諸城図	9	〃	
信濃国立沢村絵図	1	長野地方方法務局（長野市）	信玄棒道が記載
武田信玄軍陣影	1	信玄公宝物館（塩山市）	菱川政信画
〃	1	大須賀義高（坂城町）	
武田信玄騎馬像	1	定勝寺（大桑村）	
武田二十四将図	1	恵林寺（塩山市）	塩山市指定文化財
〃	1	大須賀義高（坂城町）	
武田八将図	1	原昌義（長野市）	
高坂弾正忠昌信画像	1	信玄公宝物館（塩山市）	明治
村上義清印鑑	1	荒井澄夫（坂城町）	坂城町指定文化財
題候倭謙信戦中州図	1	江原正一郎（松本市）	頼山陽筆
信州川中島古戦図	1	信玄公宝物館（塩山市）	
川中島合戦図屏風	1	西村博物館（岩国市）	岩国市指定文化財・八曲一双・写真複製
川中島戦争図	1	大日方英雄（小川村）	伝土佐光信画
三太刀七太刀の図	1	林泉寺（上越市）	楊州周延画・写真展示
川中島一騎討屏風	1	春日山神社（上越市）	六曲・写真複製
川中島稲荷山城絵図	1	市立米沢図書館（米沢市）	
川中島合戦図	1	〃	

資 料 名	点 数	所 蔵 者	備 考
川中島合戦図	1	市立米沢図書館（米沢市）	
川中島合戦図取	1	〃	
信州川中島絵図	1	〃	
信州川中島陣取略画図	1	〃	
絵本烈戦功記	5	白根桃源美術館（中巨摩郡白根町）	
絵本甲越軍記	2	〃	
甲越信戦録	4	武田竹千代（長野市）	
川中島合戦之書	1	市立米沢図書館（米沢市）	
川中島五箇度合戦	1	〃	
河中島合戦弁論全	1	〃	
信州川中島御合戦	1	〃	
武田信玄宛行状	1	大日方茂雄（長野市）	天文21年
武田信玄条目	1	〃	天文22年
武田信玄書状	1	屋代力（静岡市）	〃
〃	1	〃	〃
武田信玄感状	1	大日方英雄（小川村）	天文24年
武田信玄宛行状	1	高野寛一（牟礼村）	弘治2年・複製当館蔵
〃	1	〃	永禄3年・〃
武田信玄感状	1	山岸実（長野市）	弘治3年・〃
武田信玄願文	1	戸隠神社（戸隠村）	永禄元年・〃
〃	1	生島足島神社（丸子町）	永禄2年・〃 ・重要文化財
武田信玄感状	2	小林周平（長野市）	永禄4年
武田信玄安堵状	1	康楽寺（長野市）	永禄11年・複製当館蔵
武田信玄制札	1	〃	〃 ・ 〃
武田信玄禁制	1	称名寺（長野市）	永禄11年
武田信玄感状	1	〃	天文16年
武田信玄宛行状	1	善光寺大本願（長野市）	元亀元年
村上義清書状	1	春日山神社（上越市）	天文3年
〃	1	山口英雄（更埴市）	
上杉謙信書状	1	長野県立図書館（長野市）	弘治3年・複製当館蔵
〃	1	江原正一郎（松本市）	永禄5～6年
上杉謙信願文	1	弥彦神社（西蒲原郡）	永禄7年・複製当館蔵
〃	1	上杉神社（米沢市）	〃 ・ 〃
川中島合戦錦絵		長野県立図書館（長野市）	
〃	5	信玄公宝物館（塩山市）	5点
〃	3	白根桃源美術館（中巨摩郡白根町）	3点
〃	9	春日山神社（上越市）	9点
〃	30	仙台市博物館（仙台市）	3枚続18点・2枚続3点・1枚9点

Ⅲ 戦乱の惨禍

資 料 名	点 数	所 蔵 者	備 考
武田信玄朱印状	1	屋代力（静岡市）	永禄元年
〃	1	〃	永禄4年
武田信玄書状	1	長野県立図書館（長野市）	永禄6年
〃	1	大日方茂雄（長野市）	天文23年
信濃国更科郡川中嶋内 中氷鉋村下水鉋村御検地帳	1	青木修一郎（長野市）	文禄4年・長野市指定文化財

4) 第22回企画展

「生活用具—新収蔵資料より—」

- (1) 期間 平成元年2月26日～5月21日
(実質開館日数44日)

- (2) 趣旨 昭和62年度・63年度に博物館に寄贈・寄託された資料を一般に展示公開するために企画した。民俗分野の資料が多いため、「生活用具展」と名づけてテーマ展とした。

(3) 展示構成と内容

- ① 民俗 衣・食・住・生産・生業・年中行事などのコーナーに分けて展示した。
- ② 歴史 教科書・絵図・文書・画像などを展示した。
- ③ 自然 稲森潤氏寄贈の岩石・鉱物標本を中心に展示した。

各部門の内容については年報Vol. 6及び本年報を参照願いたい。

5) 自然史館第3回企画展

「長野市西部山地の海の貝」

- (1) 期間 昭和63年4月29日～11月23日
(実質開館日数172日)

- (2) 出版物 A2判一色刷ポスター
A4判両面刷二ツ折パンフレット
B5判展示図録16頁・頒価200円

- (3) 趣旨 長野盆地周辺地域は化石が豊富に産出することで知られている。中でも長野市西部山地一帯から産出する貝化石は、種数・個体数ともに豊富で、長野県北部地域だけから知られている固有種も数少なくない。

この展示では、いろいろや種類の貝化石を取上げるとともに、貝化石からわかる大昔の長野盆地の様子やその生き立ちについても概観する。

(4) 展示構成

- ① 長野盆地に広がっていた海
- ② 貝化石を含んだ地層
- ③ 長野盆地に棲んでいた海の貝
- ④ 貝化石と時代
- ⑤ 貝化石と環境
- ⑥ 化石の採集とクリーニング

- (5) 資料点数 87点



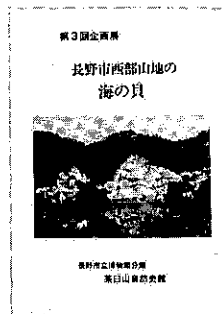
パンフレット



ポスター



パンフレット



図録

(6) 展示資料目録

No.	和 名	学 名	点数	所 蔵 者
	《戸隠村産化石》 (二枚貝)			
1	コペルトフネガイ	<i>Arca boucardi</i> Jousseaume	1	小出久和氏(更埴市)蔵
2	シガラミサルボウ	<i>Anadara amacula</i> (Yokoyama)	1	"
3	"	"	1	戸隠地質化石館蔵
4	エゾタマキガイ	<i>Glycymeris yessoensis</i> (Sowerby)	1	小出久和氏(更埴市)蔵
5	"	"	1	上越教育大学地学教室蔵
6	エゾイガイ	<i>Crenomytilus grayanus</i> (Dunker)	1	"
7	エゾヒバリガイ	<i>Modiolus difficilis</i> kuroda et Habe	1	"
8	"	"	1	小出久和氏(更埴市)蔵
9	コンバニシキ	<i>Chlamys cosibensis</i> (Yokoyama)	1	"
10	"	"	1	上越教育大学地学教室蔵
11	タナカニシキ	<i>Chlamys tanakai</i> Akiyama	1	"
12	"	"	1	戸隠地質化石館蔵
13	エゾキンチャクガイ	<i>Swiftopecten swiftii</i> (Bernardi)	1	"
14	"	"	1	小出久和氏(更埴市)蔵
15	ヤマサキホタテ	<i>Mizuhopecten yamasakii</i> (Yokoyama)	5	上越教育大学地学教室蔵
16	シナノホタテ	<i>Mizuhopecten tryblum</i> (Yokoyama)	2	戸隠地質化石館蔵
17	"	"	2	小出久和氏(更埴市)蔵
18	ヤベホタテ	<i>Yabepecten tokunagai</i> (Yoyama)	1	上越教育大学地学教室蔵
19	"	<i>Yabepecten cf. tokunagai</i> (Yokoyama)	1	小林 朗氏(長野市)蔵
20	カミオニシキガイの仲間	<i>Chlamys lioica sigaramiensis</i> Amano & Karasawa	1	上越教育大学地学教室蔵
21	サドニシキ	<i>Chlamys foeda</i> (Yokoyama)	1	戸隠地質化石館蔵
22	ナミマガシワガイモドキ	<i>Monia macroschisma</i> (Deshayes)	1	"
23	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i> (Thunberg)	2	上越教育大学地学教室蔵
24	ツキガイモドキ	<i>Lucinoma acutilineata</i> (Conrad)	1	当館蔵
25	オウナガイ	<i>Conchocele bisecta nipponica</i> (Yabe & Nomura)	1	上越教育大学地学教室蔵
26	"	"	1	戸隠地質化石館蔵
27	イシカゲガイの仲間	<i>Clinocardium sp.</i>	2	小出久和氏(更埴市)蔵
28	ウバトリガイ	<i>Serripes groenlandicus</i> (Bruguere)	1	上越教育大学地学教室蔵
29	エゾワスレガイ	<i>Ezocallista brevisiphonata</i> (Carpenter)	1	小出久和氏(更埴市)蔵
30	"	"	1	上越教育大学地学教室蔵
31	タウエヌノナハマグリ	<i>Pseudamiantis tauyensis</i> (Yokoyama)	1	"
32	"	"	1	小出久和氏(更埴市)蔵
33	カガミガイの仲間	<i>Phacosoma sp.</i>	1	上越教育大学地学教室蔵
34	ビノスガイの仲間	<i>Mercenaria chitaniana</i> (Yokoyama)	1	小出久和氏(更埴市)蔵
35	エゾヌノアナサリ	<i>Callithaca adamsi</i> (Reeve)	1	上越教育大学地学教室蔵
36	ナガウバガイ	<i>Spisula (Mactromeris) voyi</i> (Gabb)	1	戸隠地質化石館蔵
37	サラガイの仲間	<i>Peronidia sp.</i>	1	小出久和氏(更埴市)蔵
38	オオマテガイ	<i>Solen (Solen) grandis</i> Dunker	1	"
39	オオノガイ	<i>Mya (Arenomya) arenaria oonogai</i> Makiyama	1	上越教育大学教室蔵
40	シモトメチシマガイ	<i>Panomya simotomensis</i> Otuka	1	"
41	ナミガイ (巻貝)	<i>Panope japonica</i> A. Adams	1	"

№	和 名	学 名	点数	所 蔵 者
42	コヤマクロアクビ	<i>Haliotis kamtschatkana koyamai</i> Makiyama	1	戸隠地質化石館蔵
43	"	"	1	上越教育大学地学教室蔵
44	カサガイの仲間	<i>Acmaea</i> sp.	1	"
45	"	"	1	小出久和氏(更埴市)蔵
46	サイシュウキリガイダマシ	<i>Turritella saishuensis motidukii</i> Otuka	1	戸隠地質化石館蔵
47	オオヘビガイの仲間	<i>Serpulorbis</i> sp.	1	小出久和氏(更埴市)蔵
48	エゾタマガイの仲間	<i>Cryptonatica</i> sp.	1	"
49	アヤボラ	<i>Fusitriton</i> cf. <i>oregonensis</i> (Refiel)	1	上越教育大学地学教室蔵
50	エゾボラの仲間 (その他)	<i>Neptunea modesta</i> (Makiyama)	1	"
51	化石包含岩石 《中条村産化石》 (二枚貝)		1	戸隠村地質化石館蔵
52	シガラミサルボウ	<i>Anadara amacula</i> (Yokoyama)	2	小出久和氏(更埴市)蔵
53	ナガガキ	<i>Crassostrea gigas</i> (Thunberg)	2	"
54	イシカゲガイの仲間	<i>Clinocardium</i> sp.	1	"
55	タウエヌノナハマグリ	<i>Pseudamiantis tauyensis</i> (Yokoyama)	1	"
56	オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i> (Gmelin)	1	"
57	オオノガイの仲間 (巻貝)	<i>Mya</i> sp.	1	"
58	サイシュウキリガイダマシ (棘皮類)	<i>Turritella saishuensis motidukii</i> Otuka	1	"
59	ムカシブナブク (その他)	<i>Linthia nipponica</i> Yoshiwara	1	"
60	化石包含岩石 《現生貝類》 (二枚貝)		1	"
61	アカガイ	<i>Scapharca broughtonii</i> (Schrenck)	1	当館蔵
62	エゾイガイ	<i>Crenomytilus grayanus</i> (Dunker)	1	上越教育大学地学教室蔵
63	エゾキンチャクガイ	<i>Swiftopecten swiftii</i> (Bernardi)	1	戸隠村地質化石館蔵
64	ホタテガイ	<i>Mizuhopecten yessoensis</i> (Jay)	1	当館蔵
65	"	"	1	上越教育大学地学教室蔵
66	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i> (Thunberg)	1	当館蔵
67	エゾワスレガイ	<i>Ezocallista brevisiphonata</i> (Carpenter)	1	上越教育大学地学教室蔵
68	カガミガイ	<i>Phacosoma japonica</i> (Reeve)	1	"
69	ビノスガイ	<i>Mercenaria stimpsoni</i> (Gould)	1	"
70	エゾヌノメアサリ	<i>Callithaca adamsi</i> (Reeve)	1	"
71	チシマガイ	<i>Panomya aratica</i> (Lamarck)	1	"
72	ナミガイ (巻貝)	<i>Panope japonica</i> A. Adams	1	当館蔵
73	メガイアワビ	<i>Nordotis sieboldii</i> (Reeve)	1	当館蔵
74	ベッコウカサガイ	<i>Cellana grata</i> (Gould)	1	"
75	ツメタガイ	<i>Neverita (Glossaulax) didyma</i> (Röding)	1	"
76	アヤボラ	<i>Fusitriton oregonensis</i> (Refiel)	1	上越教育大学地学教室蔵
77	フジイロエゾボラ	<i>Neptunea vinosa</i> (Dall)	1	"

2 天体学習室（プラネタリウム）

1) 概要及び運営方針

当館の天体学習施設としてのプラネタリウムは、ドームの直径が12m、座席数が120で演出しやすい一方向座席となっている。（機械は五藤光学製GX-A T）

平日は学校教育の一環として理科教育センターが学習投影を行い、土曜・日曜・祝休日、そして春休みと夏休みに当館が一般向けに投影している。なお、一般投影はプログラムを組んで行うオート投影で、録音と原画製作以外は自主製作している。

本体は、実際の星空を見てその美しさを十分に味わってもらいたいのであるが、天候や時間帯など、なかなかそれができないことが多いのが現状である。そこで、少しでも多くの人々が（星が好きな人も、そうでない人も）気軽に、そして楽しく星空を見てもらうために、季節ごとに話題を変えて投影している。

プラネタリウムの中はいつも快晴で満天の星である。これが実際の星空を見る案内人としての役目を少しでも果たせればと考えている。

そして、最終的には本当の星や星座を自分で探せるように、というのが切なる希望である。

投影番組制作に当り、外部委託は次のとおりである。

録音及びテープ製作……(株)長野トップ

原画製作……永野裕子

2) 投影内容

(1) 夏の番組「真夏の夜の太陽くん」 No.28

① 投影期間 昭和63年5月28日～9月18日

② 内容

ある暑い夏の日、太陽君は北よりの西の山へ沈んでいった。ところがその夜、沈んだはずの太陽君が星空へひょっこり顔を出してしまった。太陽君は夜になると寂しくなってしまうということだ。星がたくさん輝いている夜空で太陽君が夏の星座の話をしていると、天文台のおねえさんに怒られてしまった。

そこで太陽君はおねえさんから昼と夜の区別、1日の長さや日の出、日の入の定義、江戸時代に日本で使われていた不定時法という不思議な時刻制度、そして、太陽君自身のことなどの話を聞く。

③ 声の出演

轟ゆかり・安田昌子

④ 投影時間 34分

⑤ 入場者数 5378人



パンフレット



「この世でおれより強い動物はいない」と豪語するオリオン

(2) 秋の番組「賢二と小夜子迷コンビの火星調査」 No.29

① 投影期間 昭和63年 9月23日～12月18日

② 内容

賢二は惑星専門の天文学者、小夜子は天文台でお手伝いをしている現代っ子。ある晩、賢二と小夜子がSF映画を見た帰り、上空に動く不思議な光を見た。UFOを信じたい小夜子と、全く信じない現実的な賢二は共に複雑な気分になるのだが、その時、天文台からの呼び出しがあった。台長の話では火星から異常な電波が出ているということである。そこで2人はその電波を調べるために火星へ行くよう命じられた。空には異様なまでに赤く、明るく火星が輝いていた。2人は秋の星空を見上げながら出発の日を考えていた。

二人が火星へ旅立ち、火星の姿を目のあたりにし、さまざまな調査を行った末、謎の電波源をつきとめた。それは、過去に人類が打ち上げ、既に忘れ去られた火星着陸船からであった。

③ 声の出演

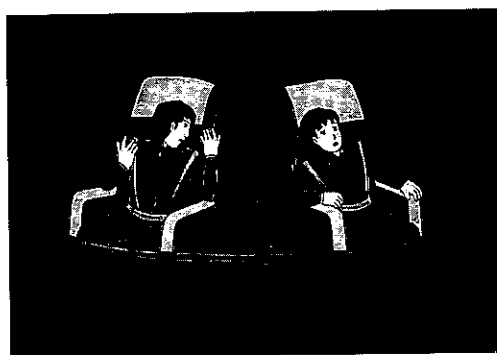
生地真人・中山和子・富士原茂子・中村利道

④ 投影時間 35分

⑤ 入場者数 3024人



パンフレット



火星からの帰路、小夜子は火星人に襲われるという悪い夢をみた

(3) 冬の番組「シリウスは赤かった!？」 No.30

① 投影期間 昭和63年12月24日～平成元年 3月12日

② 内容

凍てつく冬の星空にギラギラと明るくおいぬ座のシリウス。シリウスは現在全天で1番明るい恒星で、標準の1等星の10倍も明るい。そしてシリウスは誰の目にも青白く輝く星である。ところが、今から2000年前にはシリウスは赤い星であったという記録がたくさん残っている。これはどういうことだろう。恒星は、そんな短い間に色が変わるということは考えられないことである。この



アクタイオンは、ケンタウロス族の
ケイロンに狩を教えてもらう



パンフレット

謎を解明するための仮説がいくつか出されている。その中で最もありそうなものとして、「赤く見えていたのはシリウスの伴星（シリウスB）が原因となっている」というものである。シリウスBは現在、白色わい星という暗く小さな星であるが、数千年前に、一時的に膨脹し、赤く明るい星になったということである。しかし、その説もまだ疑問な点が多く、今後の研究課題となっている。

③ 声の出演

小山菜緒・劇団「^{からす}空素」

④ 投影時間 37分

⑤ 入場者数 1737人

(4) 春の番組 「勘三郎とヘラクレスじいさん」 No.31

① 投影期間 平成元年3月18日～5月14日

② 内容

うららかな春の夜、星もまたたきが少なくなり眠けをいっそう誘うような穏やかなひとときである。その時、南の空の一角から何か叫び声が聞こえてきた。どうやらからすの勘三郎君のようだ。勘三郎君は太陽の神アポロンに仕えていた銀色の羽根で、人間の言葉をしゃべるからすである。そう、3年前の春「こぐまのクロちゃん」に登場しているが覚えているだろうか。

勘三郎君はアポロンにはりつけにされ、からす座になっているが、出たくて困っているようである。そして勘三郎君が騒いでいるのをヘラクレスじいさんが聞きつけた。ヘラクレスはギリシャで一番の力持ちである。しかし、おじいさんとなった今はどうだろうか。とにかく、ヘラクレスじいさんは勘三郎君を助けることにした。それから勘三郎君とヘラクレスじいさんのゆかいな話が始まる。勘三郎君はなぜはりつけにされたのか。また、からす座をどうやって見つけたらよいか、そして、ヘラクレスじいさんが昔、化け物退治をした自慢話、さらにそれらの化け物が春の星座のうみへび座、しし座、かに座になっていることなどの話であった。

しかし、最後に彼ら二人、いや一人と一羽を恐ろしいものが待ち受けていた。

③ 声の出演

阿藤千鶴子・山口修三・轟ゆかり・中村利夫

④ 投影時間 38分間

⑤ 入場者数 3913人



パンフレット



からすの勘三郎は、アポロンの電撃でショックを受ける



かくしてヘラクレスじいさんは化け物たちにやられてしまった

3 調査研究収集活動

1) 民俗部門

民俗誌調査

今年度は市内の2地点について、民俗調査を実施した。2地点に関しては今後も継続的調査を行い、社会・経済・信仰・儀礼・口承文芸等を網羅した民俗誌を作製することを目的とする。とりあえず今年度は予備調査と位置付け、各地点の概要調査を行った。民俗誌作製は無形民俗資料の記録に役立つだけでなく、今後の民俗部門における展示教育の活動には不可欠な基礎資料になるものと思われる。

① 信里犬石の調査

調査月日 昭和63年6月8日・20日

同 7月13日～16日

同 7月31日(虫送り行事調査)

調査者 安室 知・中島龍吾

筑波大学大学院生1人・学生2人

調査内容 犬石は長野市信里の山間傾斜地に位置する40戸ほどの農業集落である。市の民俗文化財に指定される虫送り行事のほかにも、犬石伝説をはじめとするさまざまな伝説を伝承する集落として注目されてきた。今回はおもに、犬石老人会の協力を得ながら予備調査として、山間地に展開する水田稲作を中心とした生業形態と社会組織について調査した。

この調査資料のうち、犬石に伝わる伝説の一部は『博物館だより』第12号に概報として報告してある。

② 若穂^{わかほ}菱田^{ひしだ}の調査

調査月日 昭和63年7月13日～16日

調査者 安室 知・中島龍吾

筑波大学大学院生1人・学生2人

調査内容 菱田は千曲川と犀川の合流する地点の右岸に位置し、また菅平高原から伸びる山なみの西端にある。そのため菱田はその知名に象徴されるように低湿な水田稲作地となっていた。約50戸ほどの集落である。そうした低湿な地帯における水田稲作を中心とした生業形態と社会組織について犬石とも対比しながら調査した。



虫送りのオミコシをかつぐ(犬石)



松明を先頭にオミコシをかついで村の中を触れまわる(犬石)



村境にてオミコシを燃やす(犬石)

2) 自然部門 (天文)

太陽黒点と観測—1988年—

当館では1981年7月より太陽黒点の観測を行っている。太陽黒点の活動は11年周期といわれているが、実際は細かな変動が多く予測のつきにくいものである。当館での観測の方法は次のとおりである。

■観測方法…投影した像をスケッチする。(投影像は直径20cm)

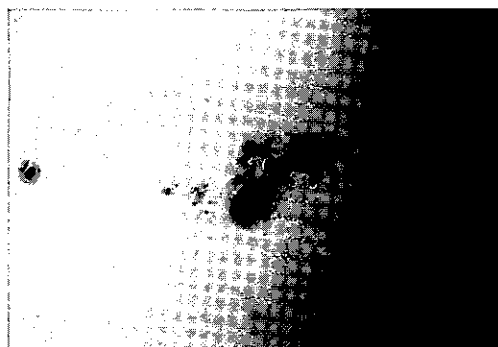
■使用望遠鏡…15cm屈折望遠鏡(五藤光学)

焦点距離2250mm (F15) 接眼レンズK40mm

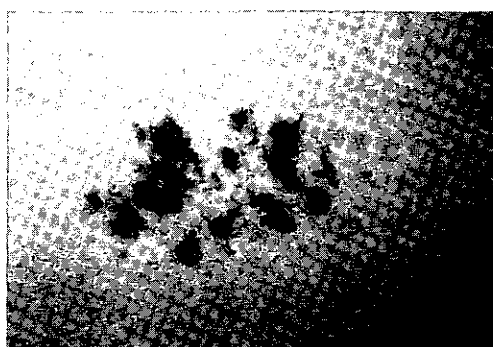
1988年の観測状況は下表の通りである。

項 目 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観 測 日 数	21	24	13	20	24	18	15	23	12	22	20	22
太 陽 黒 点 相 対 数	68.1	38.0	67.9	131.1	88.8	148.5	193.2	176.3	183.5	170.6	151.1	213.0

肉眼でも見えた大黒点群 (15cm屈折望遠鏡 F15) で撮影



1988年6月28日



1988年10月22日

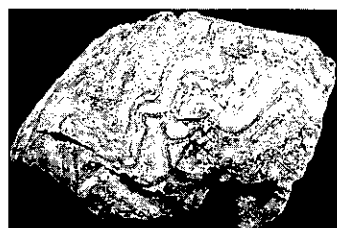
3) 資料収集

昭和63年度の収集資料の中で特筆すべきものに自然地質分野の岩石・鉱物標本がある。この資料は前東京学芸大学教授稲森潤氏(東京都)が長年にわたって、日本列島を調査して収集された資料である。その貴重な資料を茶臼山自然史館に寄贈していただきました。

内訳は、堆積岩124点、火成岩498点、変成岩232点、鉱物93点、その他19点の計966点である(詳細については、寄贈資料の節を参照いただきたい)。



溶岩(伊豆大島)



流紋岩(岐阜県三尾河)

4 教 育 普 及 活 動

1) 講 演 会

(1) 企画展「時と太陽の物語」記念講演会

日 時 昭和63年 8 月14日14時～16時

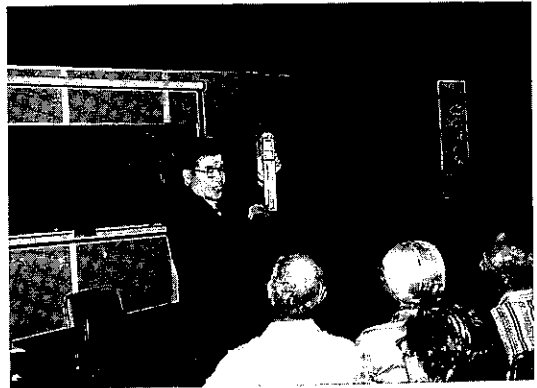
会 場 会議室

演 題 「和時計のなぞ」

講 師 北野進（池田工業高等学校長）

聴講者 45人

内 容 刊行予定の講演録を参照されたい。



「時と太陽の物語」講演会

(2) 企画展「信玄と謙信」記念講演会

日 時 昭和63年10月30日午後 2 時～ 4 時

会 場 会議室

演 題 「中世における甲冑の変遷」

講 師 宇田川武久（国立歴史民俗博物館
助教授）

聴講者 72人

内 容 刊行予定の講演録を参照されたい。



「信玄と謙信」講演会

(3) 開館 7 周年記念講演会

日 時 昭和63年 9 月23日14時～16時

会 場 特別展示室特設会場

演 題 「温泉の話ーものの見方・考え方」

講 師 掛川一夫（博物館長）

聴講者 63人

内 容 温泉とは何か、温泉の概念、県内の温泉の状況などに具体的に触れながら、ものの本質的な見方・考え方について考究した。



開館 7 周年記念講演会

2) 教室・講座

(1) 天体観望会

前年度まで天体教室として実施してきた事業を今年度から天体観望会と星座教室に分離した。本来実際の星空を見る目的の天体教室も曇天・雨天の場合が多く、その時はプラネタリウムを使って実施しており、中途半端な状態であった。そのため実際に星を見る機会を増やすことを目的として、星座教室を分離独立させた。

天体観望会は原則としてプラネタリウムを使わず、屋外で星座を探したり、望遠鏡で天体を観察する。そして、天候の影響を最小限にするため、当日曇ったり雨が降った場合は翌日（第1回目翌々日も）を予備日とした。

<第1回>

日 時 昭和63年4月24日(日) 19時～21時30分

※当初4月22日(金)に実施予定だったが、22日、23日共に曇天であったため24日の実施となった。

会 場 博物館屋上の天体観測ドーム (15cm屈折望遠鏡)

参加者 38人

内 容 望遠鏡にて月と金星、屋上で春の星座を見つける。

<第2回>

日 時 昭和63年6月17日に実施予定だったが、当日、翌日共に曇天のため中止

申込者 75人

<第3回>

日 時 昭和63年7月22日(金)に実施予定だったが、当日、翌日共に曇天のため中止

申込者 72人

<第4回>

日 時 昭和63年8月20日(土) 19時～21時

※当初8月19日(金)に実施予定だったが、曇天であったため翌20日に実施した。

会 場 博物館前庭

参加者 48人

内 容 夏の星座を探し、望遠鏡で月、土星、二重星（アルビレオ等）、星雲星団（M13等）を観察した。

<第5回>

日 時 昭和63年10月7日(金)に実施予定だったが、当日、翌日共に曇天のため中止となった。しかし、火星大接近のため申し込みが定員の3倍を越える160人あり、抽選となった。当日は中止にもかかわらず、5～6組の申し込み者が来館した。

<第6回>

日 時 昭和63年12月10日(土) 18時～20時

※当初12月9日(金)に実施予定だったが、雨天であったため翌10日に実施した。

会 場 博物館前庭

参加者 34人

内 容 秋～冬の星座を探す。望遠鏡で木星、火星、星雲・星団（M31…アンドロメダ大星雲、ペルセウス座二重星団、オリオン大星雲、M34、M45…すばる等）を観察した。

望遠鏡…16cm反射、8cm屈折望遠鏡

〈第7回〉

日 時 平成元年2月11日(土) 17時30分～20時

※当初2月10日(金)に実施予定であったが、雪のため翌11日に実施した。

会 場 博物館前庭

参加者 31人

内 容 冬の星座を探し、望遠鏡で月、木星、星雲・星団(M41…おおいぬ座の散開星団、M42…オリオン大星雲、M35…ふたご座の散開星団、M45…すばる等)を観察した。
望遠鏡…16cm反射、8cm屈折望遠鏡

(2) 星座教室

天体学習室を会場とし、各季節の星座を中心にプラネタリウムを使って学習する。

〈第1回…春〉

日 時 5月18日(日) 16時～17時10分

会 場 博物館プラネタリウム

参加者 74人

内 容 水星、金星の話と春の星座の探し方の学習。

〈第2回…夏〉

日 時 9月11日(日) 16時20分～17時30分

会 場 博物館プラネタリウム

参加者 93人

内 容 夏の星座の探し方と火星大接近の話。

〈第3回…秋〉

日 時 11月13日(日) 16時15分～17時50分

会 場 博物館プラネタリウム

参加者 71人

内 容 秋の星座の探し方等。

〈第4回…冬〉

日 時 2月5日(日) 16時15分～17時30分

会 場 博物館プラネタリウム

参加者 55人

内 容 冬の星座の探し方、2月20日～21日の皆既月食の見方、木星・火星の話。

(3) プラネタリウムC.D.コンサート「星空と音楽」

① 第16回プラネタリウムコンサート

日 時 昭和63年7月30日(土)

第1回目 午後6時20分～7時25分

第2回目 午後7時45分～8時50分

※申込者が250人となってしまったため2回に分けて実施した。

参加者 第1回目 98人・第2回目 79人

特 集 星座…火星

音楽…松任谷由美&山下達郎

曲 目

№	曲 名	歌 手
1	ユー・メイク・ミー・フィール・ブラン・ニュー	山 下 達 郎
2	ひこうき雲	松任谷由実
3	埠頭を渡る風	〃
4	真珠のピアス	〃
5	ホリディ・イン・アカプルコ	〃
6	ラブランド・アイランド	山 下 達 郎
7	甘く危険な香り	〃
8	DANG・DANG	松任谷由実
9	霧雨でみえない	〃
10	あの日に帰りたい	〃
11	DOWN TOWN	山 下 達 郎

② 第17回プラネタリウムコンサート

日 時 昭和63年10月29日(土) 午後6時30分～7時30分

参加者 80人

特 集 秋の星座と叙情の詩

曲 目

№	曲 名	歌 手
1	裸足のロンサム・カウボーイ	大 貫 妙 子
2	WATER・LOVER	Z E L D A
3	Jaques-Henri Lartigue	大 貫 妙 子
4	色 彩 都 市	〃
5	SIMON SMITH AND THE AMAZING DANCING BEAR	矢 野 顕 子
6	Sleep On My Baby	〃
7	地下鉄のザジ	大 貫 妙 子
8	メトロポリタン美術館	〃
9	小人の月光浴	Z E L D A
10	ミラージュ・ラヴァー	〃
11	終わりの季節	矢 野 顕 子
12	風 の 道	大 貫 妙 子
13	愛がいそいでいる	爆風スランプ

③ 第18回プラネタリウムコンサート

日 時 昭和63年12月17日(土) 午後6時30分～7時45分

参加者 76人

特 集 冬の星座とクリスマスソング

曲 目

№	曲 名	歌 手
1	ラスト・クリスマス	ワ ム !
2	ジョイ・オブ・クリスマス	クリス・レア
3	ドライビング・ホーム・フォー・クリスマス	〃
4	12月の夜に	ファースト・コール
5	クリスマスの灯	ボビー・ノリス&ラリー・ダソラップ
6	アヴェ・マリア	キャスリーン・バートル
7	聖母の歌～牧人ひつじを	ブランド・ドミンゴ
8	3-Dのクリスマスカード	松任谷由実
9	ブリザード	〃
10	ロッジで待つクリスマス	〃
11	きよしこの夜	山 下 達 郎
12	クリスマス・イブ	〃

④ 第19回プラネタリウムコンサート

日 時 平成元年3月25日(土) 午後6時30分～8時

参加者 88人

特 集 音楽…エルヴィス・プレスリー&ザ・ビートルズ

星座…ブラックホールと春の星座

曲 目

(エルヴィス・プレスリー)		(ザ・ビートルズ)	
No.	曲 名	No.	曲 名
1	ザッツ・オール・ライト	1	プリーズ・プリーズ・ミー
2	ブルー・ムーン・オブ・ケンタッキー	2	涙の乗車券
3	冷たくしないで	3	イエスタディ
4	ラブ・ミー・テンダー	4	ミッシェル
5	イッツ・ナウ・オア・ネバー	5	サムシング
6	ブルー・ハワイ	6	アクロス・ザ・ユニバース
7	好きにならずにいられない	7	レット・イット・ビー
8	スイート・キャロライン	8	ザ・ロング・アンド・ワインディングロード
9	ムーディー・ブルー		

(4) 化石教室

① 春の化石教室

日 時 昭和63年5月29日 9時～16時

場 所 中条村周辺

受講者 15人(市内在住小学校5年生以上)

講 師 富沢恒雄(元長野高専講師)

内 容 中条村周辺の地層観察と化石採集を行った。午前中は、岩石の種類等についての説明を聞いた後、クリノメーターを使って地層の走向・傾斜を測定し、地層の褶曲等の学習を行った。午後は、西部山地の生い立ちの講義を受けた後、ナガガキ・サルボウガイ・タマキガイなどの化石を採集した。

② 夏の化石採集(1)

日 時 昭和63年8月2日 9時～16時

場 所 信州新町周辺

受講者 21人(市内在住小学校5年生以上)

講 師 富沢恒雄(元長野高専講師)

内 容 信州新町周辺の地層観察と化石採集を行った。午前中は、太田川流域の地層の観察や化石の産状のスケッチを行った。午後は、化石についての講義を受けた後、サルボウガイやタマキガイ等の化石を採集した。また、化石から土地の生い立ちを知る手がかりが得られることなども学習した。

③ 夏の化石教室(2)

日 時 昭和63年8月5日 9時～16時

場 所 中条村周辺

受講者 14人(市内在住小学校5年生以上)

内 容 8月2日実施の化石教室が定員を超えたため抽選により参加者を決めたところ、抽選もれの市民より再度教室開催の強い要望があったため急ぎょ春の化石教室と同内容の教室を開催した。

(5) 自然教室

① 第1回自然教室

日 時 昭和63年4月24日 14時～16時45分

場 所 会議室

受講者 37人

講 師 丸山利雄（長野市文化財保護審議会委員）

内 容 「植物の名前について」と題して植物の名前が付けられた由来について詳しく解説していただいた。

② 第2回自然教室

日 時 昭和63年5月15日 13時～17時

場 所 野外

受講者 40人

講 師 丸山利雄（長野市文化財保護審議会委員）

内 容 市内にある指定文化財のうち天然記念物の樹木に焦点をあてて、「岩崎のイチョウ」（若穂綿内）、「塚本のビャクシン」（川田塚本）、「西条のカヤ」（松代町西条）、「光林寺の松並木」（篠ノ井小松原）などを巡見した。

③ 第3回自然教室

日 時 昭和63年6月5日 14時～16時

場 所 会議室

受講者 17人

講 師 丸山利雄（長野市文化財保護審議会委員）

内 容 「植物と年中行事」と題して、年中行事と植物とのかかわりを解説していただいた。

(6) 民俗講座

日 時 昭和63年7月31日 14時～16時

場 所 特別展示室特設会場

受講者 59人

講 師 齊藤武雄（中野市文化財保護審議会委員）

内 容 年中行事の発生根源、年中行事の事例などを子どもの参加の仕方、行事食の特色、信仰心の係わりを縦軸にして、「長野の年中行事」についてお話しいただいた。

(7) 民俗教室

日 時 昭和63年8月28日 10時30分～16時

場 所 野外（芋井地区）

受講者 13人

講 師 麻場長男（長野県文化財保護協会長野支部副支部長）

内 容 「長野の石仏探訪会」と題して、石造文化財の豊庫といわれる芋井地区をたずね、素朴な庶民信仰の一端を馬頭観音、六地藏、巡拝塔などを実際に見ながら学習した。

(8) 考古学講座

日 時 昭和63年8月7日 14時～16時

場 所 特別展示室特設会場

受講者 113人

講 師 大塚初重（明治大学教授）

内 容 毎夏実施されている明治大学による大室古墳群の調査成果をお話しいただいた。積石塚

の問題では朝鮮系というより、むしろ環境自生説を唱えられた。またこれまで大室古墳群全体を後期の群集墳としてとらえていたが、近年の調査によって、5世紀代までさかのぼり、小グループの中で合掌形石室の積石塚より築造が始まると話された。

(9) 歴史講座

日 時 昭和63年10月22日・11月5日・11月19日・12月3日 14時～16時

場 所 会議室

受講者 24人

講 師 和田博（専門員）

内 容 古代から中世にかけての長野の歴史を通観した。第1回目は「古代の郡郷」、第2回目は「荘園の発生」、第3回目は「中世の城館跡Ⅰ」、第4回目は「中世の城館跡Ⅱ」のテーマで学習した。

(10) 歴史講座

日 時 平成元年2月4日・2月25日・3月11日 14時～16時

場 所 会議室

受講者 22人

講 師 藤森治幸（専門員）

内 容 近世における寺送状、離縁状、地所證文などの文書の読解を通して、身近な郷土の歴史を学習した。

(11) 日曜映画会

① 春の日曜映画会

日 時 昭和63年4月24日・5月1日・5月22日・6月12日 14時15分より

場 所 特別展示室特設会場

参加者 各回15～25人

内 容 上映した16mm映画の内容は信州に関連した作品を選択した。

「日本の屋根・中央高地」、「信州」、「歴史のふるさと」、「本州の山」

② 夏の日曜映画会

日 時 昭和63年7月3日・7月24日・8月13日・9月4日 14時15分より

場 所 特別展示室特設会場

参加者 各回20～30人

内 容 「木曾山今昔」、「山びこよ歌え」、「信州のまつり」、「刀鍛冶」を上映した。

(12) 日時計作り教室

日 時 昭和63年8月6日(土) 10時～15時30分

場 所 理科教育センター第2実験室

受講者 24人

講 師 関舜衛（日本天文学会会員）

内 容 長野市（八幡原）に合った日時計の設計図、文字盤、ノーマンの製作、均時差表の使い方などを実際に作りながら学習した。この教室は企画展「時と太陽の物語」の記念事業として実施した。

3) 刊 行 物

名 称	発 行 日	規 格	備 考
節供人形とおもちゃ	4月17日	B 4 二つ折	企画展(収蔵資料展)パンフレット
長野市西部山地の海の貝	4月29日	B 5・16頁	企画展図録
〃	〃	A 4 二つ折	企画展パンフレット
真夏の夜の太陽くん	5月28日	〃	プラネタリウムパンフレット A628
博物館だより 第11号	6月7日	B 5・4頁	企画展特集
時と太陽の物語	7月3日	B 5・85頁	企画展図録
〃	〃	A 4 二つ折	企画展パンフレット
賢二と小夜子迷コンビの火星調査	9月23日	〃	プラネタリウムパンフレット A629
博物館だより 第12号	10月1日	B 5・4頁	犬石民俗調査ほか
信玄と謙信	10月2日	B 5・37頁	企画展図録
〃	〃	A 4 二つ折	企画展パンフレット
シリウスは赤かった	12月24日	〃	プラネタリウムパンフレット A630
博物館だより 第13号	1月21日	B 5・8頁	長野正月行事特集
年報 第6号	1月30日	B 5・78頁	昭和62年度活動報告
生活用具展	2月26日	B 5 両面刷	特別展パンフレット
勘三郎とヘラクレスじいさん	3月18日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレット A631

4) 博 物 館 実 習

実習生 鈴木 智子(上智大学)
 前島 卓(立正大学)
 岸田なおみ(静岡大学)
 両角 由佳(日本大学)
 楠川 百年(白梅女子短期大学)

期 間 昭和63年7月26日～7月31日(6日間)

実 習 日 程 概 要

月/日	実 習 事 項	実 習 内 容
7/26	実 習 に あ た っ て	実習心得と実習計画・館内案内・館の成り立ち―機構と業務―・館長講話・地域博物館の役割
7/27	常設展示と企画展示	常設展示と企画展示―構想と構成―・自然史館常設展示について・自然資料の収集と整理
7/28	資 料 の 取 扱 い と 整 理 実 習	資料の収蔵システム・展示と保存科学・民俗資料の調査・収集・民俗資料の整理
7/29		民俗資料の整理実習
7/30		歴史資料の取扱いと整理・プラネタリウムの制作と投影・プラネタリウム実習
7/31	展 示 室 実 習	常設展示室・受付案内実習

III 博物館収蔵資料

1 購入資料

1) 図 書

書 名	発 行 所
長野県の大正時代上	図書刊行会
長野県の大正時代下	"
長野県の風土記	旺文社
山国の生活誌伊那谷 1	新葉社
" " 2	"
国宝高松塚古墳壁画	第一法規出版
信州上田城	郷土出版社
社寺参詣曼陀羅	平凡社
地球大紀行別巻 1	日本放送出版協会
" 別巻 2	"
明治初期長野県町村字地名大鑑	長野県地名研究所
信玄武將の起請文	信毎書籍
佐久市志	佐久市志刊行会
山国の生活誌 3、山国の家族	新葉社
" 4、山国の四季	"
群馬県地名大辞典	角川書店
長野県史通史編第 7 巻近代 1	長野県史刊行会
長野県史通史編 5	"
長野県史考古資料編	"
長野県史民俗編第 1 巻 (2) 東信地方	"
" " 第 1 巻 (3) 東信地方	"
" " 第 2 巻 (1) 南信地方	"
明治期作成の地籍図	古今書院
信濃中部地質誌	"
三沢勝衛地理研究資料目録	長野県諏訪清陵高校同窓会
茅野市史中巻中世近世	茅野市
茅野市史下巻近現代民俗	茅野市
茅野市史別巻自然	茅野市
考古学雑誌第 1 巻明治 43-44 年	学生社
" 第 2 巻明治 44-大正 1 年	"
" 第 3 巻大正 1 年-2 年	"
" 第 4 巻大正 2 年-3 年	"
" 第 5 巻大正 3 年-4 年	"
" 第 6 巻大正 4 年-5 年	"
" 第 7 巻大正 5 年-6 年	"

書 名	発 行 所
" 第 8 巻大正 6 年-7 年	学生社
" 第 9 巻大正 7 年-8 年	"
" 第 10 巻大正 8 年-9 年	"
" 第 11 巻大正 9 年-10 年	"
" 第 12 巻大正 10 年-11 年	"
" 第 13 巻大正 11 年-12 年	"
" 第 14 巻大正 12 年-13 年	"
" 第 15 巻大正 14 年	"
目でみる民俗神第二巻豊饒の神と家の神	東京美術
目でみる民俗神第三巻	"
目でみる民俗神第一巻山と森の神	"
百年、千年・万年後の日本の自然と人類	古今書院
土と水から歴史を語る	信毎書籍出版センター
川中島合戦図長篠合戦図	中央公論社
賤ヶ岳合戦図小牧長久手合戦図	"
大坂冬の陣図大坂夏の陣図	"
関ヶ原合戦図	"
縄文土器大観 2 中期 1	小学館
日本民族・文化の生成 (1)	六興出版
日本民族・文化の生成 (2)	"
風土・魂の教育者三沢勝衛	銀河書房
日本仏教宗派辞典	大日本印刷 (株)
日本暦西暦月日対照表	日外アソシエーツ (株)
骨のフォークロア	弘文堂
日本書紀日原典	雄山閣出版
日本暦日原典	"
(復刻) 建造物修理工事報告書 1	郷土出版社
" 2	"
" 3	"
" 4	"
" 5	"
リク星図	東亜天文学会
時計百科辞典	精密工業新聞社
日本の時計	日本評論社
時計史年表	河合企画室

書 名	発 行 所
古時計	東峰書房
江戸時計文献録	和科学々会
時計 (WORLD COLOR BOOK)	主婦と生活社
時計の科学	火星社
時計の発達史	有明書房
山国の生活誌	新葉社
兵庫県地名大辞典	角川書店
山口県地名大辞典	"
動物大百科別巻恐竜	平凡社
有珠山—その変動と災害	北大図書刊行会
郷土都道府県地図、長野県版	昭文社
上水内郡誌自然編	上水内郡誌編集会
更級埴科地方誌自然編	更級埴科地方誌刊行会
穂高わさびの歴史と栽培・加工法	
上伊那郡郷土館研究収録第1集	
長野県郷土資料総合目録	
正倉院宝物中倉	朝日新聞社
島原の乱図戦国合戦図	中央公論社
戦国武家風俗図	"
愛知県地名大辞典	角川書店
考古学叢考上巻	吉川弘文館
" 中巻	"
" 下巻	"
縄原考古学研究所論集第四	"
" " 第五	"
" " 第六	"
" " 第七	"
" " 第八	"
" " 第九	"
" " 第十	"
歴史資料保存機関総覧東日本	山川出版社
モースの見た日本	小学館
漁の図鑑	光出版
古代東アジアの装飾墓	同朋舎
日本博物館発達史	雄山閣
博物館の環境管理	"
博物館学序論	"
博物館技術学	"
博物館学論考	"
家屋害虫	井上書院
家屋害虫2	"
暮らしの中のおじゃま虫	"

書 名	発 行 所
日本にきた虫・くる虫	裳華房
アリからのメッセージ	"
老化の原点をさぐる	"
四季の野鳥	"
植物文化史	"
フッ素の化学	"
いい伝え化学	"
失敗は成功のもと	"
においの化学	"
鉄の歴史と化学	"
定本国宝松本城	郷土出版社
気象歳時記	丸善
気象データマニュアル	"
銀河と宇宙	"
地球から宇宙	"
星空へのガイドブック	"
雪の話・氷の話	"
川の博物誌	"
生命科学	"
自然界の大きさ	"
宇宙からみた地球	"
ジオグラフィックス・ジャパン	"
日本の遺跡出土木製品総覧	雄山閣
宇宙電波天文学	共立出版
宇宙からみた地球	丸善
鞍と鎧	芸艸堂
信州の祭り大百科	郷土出版社
宇宙を解く	恒星社
実験天文学ワークブック	"
赤城山麓の旧石器	講談社
歴史資料保存機関総覧西日本	山川出版社
くもった日の天文学	丸善
写真でみる農具民具	農林統計協会
博物館・情報検索辞典	丹青社
穂高神社とその伝統文化	穂高神社社務所
東部町歴史年表	東部町誌刊行会
東部町誌社会編	第一法規出版KK
中編の星と星座	むぎ社
日本の労働者	源流社
日本民俗地図VI婚姻	国土地理協会
日本民俗地図葬制暮制VII	"
日本民俗地図食生活IX	"

2) 歴史資料

資 料 名	数 量	備 考
絵本甲越軍記	1	
川中島合戦記	2	
川中島一騎打の図	1	軸装（斎木修亭画）

2 寄贈資料

1) 自然資料（稲森潤氏寄贈資料）

和 名	採 集 地	和 名	採 集 地
■堆積岩		〃 南岳 〃	〃 〃 足投
礫岩（中生代）	岐阜県白山	〃 〃 〃	〃 〃 〃
跡倉礫岩		〃 安永 〃	〃 〃 長崎
薄衣礫岩中の礫	岩手県長部	〃 昭和 〃	〃 〃 有村
〃	阿武隈	〃 〃 〃	〃 〃 〃
花崗岩礫	聖蹟桜丘の礫岩中（病院裏）	桜島昭和熔岩	鹿児島県東桜島村有村
角礫岩	奈良県吉野郡十津川神下	昭和熔岩中の花崗岩の捕獲岩	〃 〃 〃
石英砂岩	石垣島川平の近く	中央火口丘熔岩	箱根
〃	〃	中央火口丘熔岩	神奈川県箱根二子山
石英質砂岩	沖縄久米島島尻	〃	〃 〃 〃（須雲川）
砂岩	〃	〃	〃 〃 駒ヶ岳
〃	葛生 山越	〃	〃 〃 〃
〃	沖縄辺土	〃	〃 〃 〃
〃	高知県足摺岬見残	熔岩（？）	〃 〃 〃
〃	埼玉県皆野橋下	新期外輪山熔岩	箱根峠
団塊	〃	古期外輪山熔岩	神奈川県蘆ノ湯村
珪藻土	隠岐道後西郷町飯ノ山	（神山熔岩）	箱根 大湧谷下
シルト岩	沖縄 久米島島尻	熱帯堆積物	〃 〃 〃
泥岩	〃 〃	〃	〃 〃 姥子
シラス	鹿児島市	〃	〃 〃 〃
凝灰岩	神奈川県三浦市城ヶ島	〃	〃（中央火口丘堆積物）
〃	埼玉県秩父郡日向	安永熔岩	伊豆大島三原山
〃	紀伊 下葛川	粗面状黒曜石の多い熔岩	隠岐道後黒滝
玄武岩質凝灰岩	群馬県 神流川	熔岩	
〃	成羽	火山弾	三宅島 雄山
〃	沖縄久米島島尻	火山豆灰石	福島県川東駅前
流紋岩質凝灰岩	伊豆下田吉佐美	転石	鹿児島県指道海岸
〃	福地重ヶ根	石灰岩	沖縄 白銀堂
酸性凝灰岩	柏木層（いわゆるアジノール板岩）	〃	〃 辺戸岬
〃	高知県横倉山	〃	〃 本部半島今帰仁
緑色凝灰岩	静岡県湯ヶ島	〃	〃 木部渡口
〃	〃	〃	奈良県天川村洞川
〃	〃	〃	白石
〃	〃	〃	北上 宮守
〃	石垣島オガソ崎	琉球石灰岩（栗石）	石垣島
〃	〃 星野（カヘイ石灰岩に伴う）	（深海底の石灰岩？）	愛媛県松尾峠（宇和島の南）
玄武岩質集塊岩	埼玉県秩父馬上	読谷石灰岩	ギリシャ クレタ島
〃	成羽	トラバーチン	沖縄 高良
桜島大正熔岩	鹿児島県西桜島村横山	苦灰岩（白雲岩）	〃 本部半島王城
〃 文明 〃	〃 東桜島村野尻		栃木県葛生吉沢石灰 5 号

和 名	採 集 地
" ?	沖縄 産地不明
ビーチロック	" 恩納
チャート	" 伊是名島
"	" 本部高校
"	" 伊江島 タツチュウ
"	石垣島 観音崎
"	埼玉県秩父桜谷
"	" "
"	" 越生町小杉
放散虫チャート	埼玉県秩父橋立
"	奈良県吉野郡西吉野村黒淵
礫岩	熊本県八代郡下松求麻村坂本
" (白亜紀下部の最下部)	神通峡、猪ノ谷、庵谷
" (")	"
" (")	"
" (")	"
" (")	"
白亜紀下部の最下部の礫岩中の礫	"
白亜紀下部の最下部の礫岩中の礫	"
秩父第三系の基底礫岩中の礫	埼玉県秩父岩殿沢
基底礫岩 (中生代)	岐阜県大野郡莊川村牧戸
	神奈川県大滝沢合流点
砂岩	(瀬山)川合
花崗質砂岩	埼玉県秩父白州公園
中生代の地層の礫層中に見られる緑化礫理	" 志賀坂峠
木節粘土	愛知県 瀬戸
"	"
緑色凝灰岩	富山県 立山湯川
"	"
(")	埼玉県小川瀬川
熔岩凝灰岩	"
集塊岩	鹿児島市、磯、琉球
"	千葉県 太見海岸
"	岐阜県白山スーパー林道
軽石	小笠原硫黄島南方海上
"	有珠岳 昭和南山
熔岩	伊豆大島
火山弾	"
石灰岩	沖縄本部半島先端
"	" " 運天港
" (牧港石灰岩?)	" 港川
"	鹿児島県川辺郡笠砂町野間崎南
フズリナ石灰岩	沖縄 塩川
チャート	埼玉県秩父郡中双里

■火成岩	
花崗岩	長野県 葛
"	" "
"	" "
"	" 常盤
" (遠野型)	北上
"	高知県足摺岬
" (有住型)	"
"	岩手県竹駒
"	" "

和 名	採 集 地
森安花崗岩	岐阜県角川
花崗岩	" "
"	" "
花崗岩	新潟県岩船郡寒川
" (水上型)	北上 登ノ沢
" (有住型)	" "
" (竹駒型)	" "
" (遠野型)	" "
"	石垣島於茂登
"	" 川原 (於茂登山)
"	" "
"	岐阜県白河村白山登山道
"	" " 牧西の谷
"	" " 荒谷
"	奈良県吉野郡下北山村前鬼
"	" "
"	" " 天川村川辺り
" (麦島花崗岩)	岐阜県大野郡莊川村庄川最上流
"	" " "
" (麦島花崗岩)	" " 莊川村中畑
"	山梨県地藏岳
"	茨城県西茨城郡西山内村裾原
" (麦島花崗岩)	岐阜県清見村長幅谷
"	段戸
"	"
"	"
"	"
"	"
"	富山県 立山 (頂上)
"	福島県伊予所
黒雲母花崗岩	鹿児島県高山平野
"	" " 本城
"	岐阜県平瀬鉱山
"	"
"	" 白川村荒谷
"	" " 白山登山道
黒雲母花崗岩	佐久間
"	奈良県吉野郡天川村川辺り
"	"
"	茨城県 稲田
"	"
"	新潟県岩船郡寒川駅前
"	長野県上高地穂高南麓
"	香川県小豆島
"	京都府瓜生山
アブライト質粗粒花崗岩	天生谷川沿の道から庄屋谷に向かう道の入口
マイクロ花崗岩	庄屋橋
"	岐阜県白川村天生峠
"	" " 大白川
細粒花崗岩	" " 荒谷
"	鹿児島県笠砂町小浦
角閃石花崗岩	鳳凰山
"	"
"	常願寺川上流ザラ峠
"	"

和名	採集地
片麻状花崗岩	北上 竹駒
"	富山県常願寺川
"	"
斑状花崗岩	岐阜県神岡鉱山前
"	"
圧碎花崗岩	庄屋小谷上流
含ザクロ石花崗岩	段戸 (三都橋花崗岩の侵白部)
"	北上 竹駒
マイクロ花崗岩	岐阜県莊川村三尾河
花崗閃緑岩	奈良県吉野郡天川村白倉谷川辺り
"	岐阜県? 谷麦島西の沢
"	段戸 (清崎花崗岩)
"	" (三都橋花崗岩)
石英閃緑岩	神奈川県丹沢湖沢ダム
" (捕獲岩)	東京都西多摩
"	" 三頭山
"	"
"	群馬県下仁田町大北野
閃緑岩	神奈川県三浦半島衣笠
" (流状構造)	" 丹沢湖沢
"	岐阜県吉城郡上宝村今見
"	" " " "
"	愛知県北設楽郡段戸
"	岐阜県吉城郡上宝村今見
"	" 大野郡牧戸
閃緑岩	奈良県吉野郡天川村白倉谷川辺り
"	" " 洞川
"	"
"	"
"	"
"	"
閃緑岩の中の苦鉄質な岩石	"
閃緑岩	長野県葛温泉
"	" " "
"	" 佐久間
"	高知県横倉山
"	東京都三頭山
" (遠野型)	北上官守
"	"
" (遠野型)	"
細粒閃緑岩	三重県尾鷲
モンソナイト	北安曇郡策場
石英モンソニ岩	" 青木
"	" " "
細粒ハンレイ岩	神奈川県三浦半島衣笠
"	宇奈川
"	"
"	"
"	神奈川県久里浜久村
"	" " " "
ハンレイ岩	" 三浦半島衣笠
"	宇奈川
"	鹿児島県川辺郡笠砂町仁王崎
"	阿武隈
" (浮金石)	スウェーデン産
斑岩	"

和名	採集地
変斑岩	群馬県下仁田町跡倉
閃緑岩	岩手県 宮守
石英斑岩	鳳凰山
"	奈良県十津川村玉置山
"	" " "
"	" " "
"	" " 神下
"	" " "
"	" " "
"	" " " 戸の北 3 km
"	" 吉野郡天川村
"	長野県常磐
斑岩	" 葛
石英斑岩	長野県南安曇郡安房峠
" (Garnetを含む)	" 葛
石英斑岩	岐阜県稲谷赤谷口
"	" "
"	" 大野郡莊川村三尾河
"	" " " 大野鉱山
"	" " " 二谷
"	" " 清見村麦島
"	" " "
"	" 白川
"	" " 天生峠
"	" " 牧の西谷
"	" " 大白川
"	" " "
"	" 郡上郡奥明方村氷沢上
石英斑岩	串本 潮岬村
"	" "
"	紀伊 下葛川
"	" "
花崗斑岩	鹿児島県川辺郡笠砂町
石英斑岩	" " " 小浦
花崗斑岩	" " " "
"	" " " "
石英斑岩	岩手県 宮守
アノークレス石英斑岩	和歌山県牟婁郡太地町
月長石石英斑岩	木崎湖
"	"
玻璃質石英斑岩	岐阜県白川村天生峠
"	奈良県吉野郡天川村川辺り
斑岩	長野県 葛
"	三重県尾鷲
" (含黄鉄鉱)	久米島
輝緑岩中の斑岩	岐阜県白川村荒谷
花崗斑岩	" " 大白川
"	三重県尾鷲
"	" "
"	" 北牟婁郡相賀
マイクロ花崗斑岩	岐阜県大野郡莊川村三尾河
花崗斑岩の中の捕獲岩	三重県尾鷲
ヒン岩 (岩脈)	奈良県吉野郡天川村洞川
"	秩父 出会 (中津)
"	上高地 (南安曇郡)

和 名	採 集 地
"	八丈島
"	"
"	"
"	三宅島ひょうたんやま下
"	箱根木賀
"	東京大島 岡田港
"	鳥取砂丘
霞石玄武岩	島根浜田市長浜
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
微攪石玄武岩	会津 一切経山
ケルスート閃石玄武岩	隠岐道後真杉
"	"
"	"
シャルスタイン	群馬県三津川
角閃石ベグマタイト	岐阜県大野郡莊川村三谷
"	" " " "
"	" " " 惣則
グライセンベグマタイト	一色 苗木
ベグマタイト	一色 苗木
"	茨城県新治郡藤沢
橄欖岩	檜谷 麦島街道
"	沼田 川場 一軒屋
"	" 小住温泉
"	福島県石川山
"	大江山
橄欖岩	秋田県男鹿半島の月湯
ダナイト (ダンかんらん石)	中ノ茶屋 (大江山)
輝石	大江山 普甲峠
"	near Oamaru
角閃石岩	北上 宮守
"	"
"	"
"	"
" ?	"
"	岐阜県莊川郡三尾河
"	"
"	富山県常願寺川
" (マンバンザクロ石?)	茨城県男体山
" (" ?)	"
蛇紋岩	岩手県 宮守
"	" "
" (アンティゴライト)	" "
"	神奈川県三浦半島衣笠
蛇紋岩	" "
"	沼田 小松

和 名	採 集 地
" (竹葉石)	茨城県久慈郡河内村町屋
斜長岩 (霞石玄武岩中の捕獲岩)	島根浜田市長浜
輝石	"
"	京都府宮津市普甲峠
蛇紋岩	"
"	秩父 長瀬
"	"
"	岩手県上閉伊郡宮守ダム
蛇灰岩	秩父 長瀬
花崗岩 (天竜峡花崗岩)	"
"	稲田
"	兵庫県 赤穂
"	京都府大谷鉱山
" (遠野型)	"
"	福島県 石川 川俣
"	"
"	菱山崎
"	"
"	宮野原
花崗岩	愛知県北設楽郡段戸
細粒花崗岩	"
"	玉名
"	初鹿野
黒雲母花崗岩	福島県東白川郡宮本村古殿
" (伊那川型)	岐阜県郡上郡奥明方村水沢
"	長野県 上松
"	福島県 (阿武隈)
"	"
"	愛知県北設楽郡段戸
"	福島県東白川郡宮本村水沼
"	" " " "
"	" " " 仁田
"	" 岩城郡田人村石住
"	岐阜県大野郡莊川村庄川上流長幅谷
閃緑石	仁和
"	福島県東白川郡宮本村発電所
" 麦島片麻岩中のXenolith	岐阜県大野郡莊川村庄川上流長幅谷
石英閃緑石	埼玉県 秩父鉱山
"	" "
"	" 秩父中津川
"	神奈川県丹沢中川
花崗閃緑岩	鹿児島県下飯島芦浜
"	" " 長浜
"	" "
"	" "
"	" 高山 本城
細粒花崗閃緑岩	福島県東白川郡宮本村水沼
トロンエム岩	群馬県川場温泉
斑岩	"
"	"
"	"
"	福島県東白川郡竹貫村長光地
"	"
"	千葉県 峯岡山
"	" "
"	" 岩井

和 名	採 集 地
〃	潮岬村串本
〃	〃
〃	〃
〃	埼玉県小川槻川
〃	〃
〃	筑波山ケーブル道
〃	〃
橄欖石斑岩	筑波山 女体山
異剥石斑岩	〃 トンネルの上
〃	埼玉県小川槻川
ウラル石斑岩	筑波山 女体山
〃	〃 〃
〃	〃 トンネル先
斑岩	鹿児島県川辺郡笠砂町野間崎南
〃	〃
石英斑岩	三重県 尾鷲
〃	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃
〃	〃
〃	和歌山県新宮市越路峠
〃	〃 〃 〃
〃	〃 高地町月三瀬
〃	岐阜県清見村 麦島、火山
〃	潮ノ岬 橋杭岩
花崗斑岩	鹿児島県川辺郡笠砂町仁王崎
〃	〃
〃	〃
〃	和歌山県東牟婁郡太地町
〃	三重県南牟婁郡鬼ヶ城
ヒン岩	鹿児島県川辺郡笠砂町仁王崎
〃	潮ノ岬 串本
〃	埼玉県秩父鉾山
文象斑岩？	奈良県吉野郡下北山村前鬼
〃	三重県北牟婁郡相賀駅
輝緑岩	愛知県北設楽郡段戸
〃	鹿児島県川辺郡笠砂町仁王崎
〃	群馬県川場温泉
〃	福島県岩城郡田人村石柱
〃	〃 入道野村且具
〃	〃 田人村石柱
流紋岩	福島県東白川郡宮本村作根
〃	佐渡 相川南 春日崎
〃	三重県 尾鷲
真珠岩	〃 木本
〃	〃 尾鷲
安山岩（昭和熔岩）	伊豆大島
〃（昭和熔岩）	〃
〃	〃
〃（大正3年熔岩）	鹿児島県桜島（西川）城山
〃（昭和熔岩）	〃 〃 〃 黒神

和 名	採 集 地
〃	〃 開聞岳
〃（熔岩）	有珠岳、昭和新山
〃（熔岩）	〃 〃
〃	昭和新山 南側熔岩
〃	愛媛県久万町西明神
〃（新期外輪山熔岩）	箱根関所跡
〃	伊豆、蘆山、裏
安山岩	長野県 真田駅
角閃石安山岩	信濃境（八ヶ岳）
〃	伊豆 横根沢石
玄武岩質安山岩	千葉県 太見海岸
〃	〃
含橄欖石普通輝石紫蘇輝石安山岩	長野県富士見市綱笠山山頂
玄武岩	愛知県 豊根村老平
〃	佐賀県伊万里市東山代町滝川内
〃	〃
〃	兵庫県 玄武洞
〃	〃 〃
〃	〃 城崎温泉
〃（新熔岩）	伊豆 三原山
〃（新熔岩）	〃
〃（安永熔岩）	〃
〃（新熔岩）	〃
〃（新熔岩）	〃
新熔岩表面に付いた昇華物	〃
〃	〃
角閃石ベグマタイト	筑波山トンネル
文象斑岩状ベグマタイト	福島県 石川山
橄欖石	千葉県 岩井
〃	〃
〃	〃
ハルツパーチャイト	福島県東白川郡宮本村篠久保
〃	〃
角閃石岩	群馬県川場村岩室
蛇紋石（竹葉石）	茨城県久慈郡河内村町屋
〃（竹葉石）	〃
〃（竹葉石）	〃
〃（竹葉石）	〃
〃	神奈川 衣笠
〃	〃 久里浜 久村
〃	千葉県 峯岡山
〃	群馬県 川場温泉
〃	熊本県八代郡下松求麻村坂本
〃	（瀬山）坪ノ内
コートランド岩	福島県田村郡春山
斜長岩	茨城県筑波山女体山頂
〃	〃 〃 女体山
〃	筑波山ケーブルのトンネル
〃	千葉県安房郡平？村上ノ？
〃	〃 峯岡山
〃 ？	〃 岩井
〃	茨城県筑波山女体山頂

和 名	採 集 地
■変成岩	
ホルンフェルス	北海道チビラ
"	黒羽
"	秩父手合 (中津)
"	庄屋谷上流
"	北上 小坪沢
" ?	岩手県 "
"	" 宮守
"	" "
"	石垣島於茂登のふもと
"	石垣島 (於茂登岳の下)
"	袋田瀧
"	奈良県吉野郡天川村洞川
ホルンフェルス	奈良県吉野郡十津川村上瀬
"	紀伊 下葛川
"	黒羽
" (紅柱石後の堇青石?)	"
"	稲田
堇青石ホルンフェルス	群馬県 沢入
"	" "
"	" "
"	栃木県 黒羽
"	" "
" (接石)	京都府亀岡市 野町奥篠大谷
黒雲母ホルンフェルス	佐久間
石墨大理石	角川 飛騨
結晶質石灰岩	秩父中津出谷
"	"
金雲母石墨結晶質石灰岩	庄屋谷下流
スカルン	奈良県吉野郡天川村 川迫鉱山
"	" " 洞川清浄橋
"	長野県北安曇郡常盤寺崎
"	? 名川
" (アブライト質花崗岩)	庄屋谷中流
"	岐阜県天生峠角川側
" (含ザクロ石)	奈良県吉野郡天川村 川迫鉱山
" (含ザクロ石、珪灰石)	庄屋橋
スカルン (ザクロ石)	奈良県 洞川
ザクロ石スカルン	奈良県吉野郡天川村 川迫鉱山
緑簾石スカルン	" "
透輝石スカルン	岐阜県 角川
スフェーン透輝石スカルン	立山 藤橋
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	富山県 称名川
"	奈良県吉野郡天川村洞川清浄橋東の道路側
粘板岩	北上 宮守
" (含植物化石)	岐阜県大野郡莊川村三谷東
"	奈良 神野
"	"
千枚岩	埼玉県秩父落合
"	奈良 神野

和 名	採 集 地
"	埼玉県 堂平山天文台入口
ミグマタイト	北海道チビラ
"	"
"	"
片岩	石垣島 明石
"	" 平野
"	" 米原
"	" "
"	" "
"	" 平野
片岩	神居古潭
"	"
"	"
"	"
"	沖縄 渡嘉敷
"	宇奈月
"	"
"	一梨
"	奈良大瀬古谷 北
"	小住
オットレ石片岩	日立鉱山
"	北上 仙ノ内
紅簾石片岩	長瀬 親鼻橋
"	群馬県多野郡三波川村大奈久
"	長瀬 親鼻橋
緑閃石片岩	長瀬 金崎
"	"
"	長瀬 親鼻橋
十字石片岩	宇奈月
"	"
スチルプノメレン片岩	秩父 長瀬
十字石片岩	宇奈月
絹雲母片岩	峯沢 鮎鈞
絹雲母緑泥片岩	群馬県鬼石町小平
"	埼玉県堂平山頂上
緑泥石片岩	長瀬 親鼻橋
石墨片岩	西渡
白雲母片岩	川口
緑簾石片岩	奈良県大瀬古谷 北
石英パッチ準片岩	早川 西
紅簾石片岩	秩父 長瀬
"	"
"	"
スチルプノメレン片岩	"
"	"
"	"
絹雲母石英片岩	"
"	"
"	"
"	"
点紋緑泥石片岩	"
"	"
方解石片岩	"
"	"
石墨片岩	"
赤鉄鉱片岩	"
"	"

和名	採集地
緑閃石片岩	槍ヶ岳 肩
片麻岩	愛知県北設楽郡段戸
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
"	"
藍青石片麻岩	"
"	"
黒雲母片麻岩	福島県東白川郡宮本村戸倉
	福島県東白川郡

■鉱物	
水晶	岩手県陸前高田市竹駒玉山
"	"
"	"
"	"
"	"
"	" 壺ノ沢
	伊豆 清越鉱山
煙水晶	福島 石川山
	瀬戸 大学鉱山
石英	岐阜県荘川村中畑
	伊豆 清越鉱山
	"
	箱根甘酒茶屋
鱗珪石 (新期外輪山熔岩中)	"
"	"
方珪石	静岡県対島村富戸
"	" 田方郡中大見村八代田
玉髓	茨城県西金方村県邊
"	"
"	"
碧玉「赤玉」	佐渡
曹長石	沼田 川場 一軒屋
正長石	一色 苗木
	葉研山
鉄リシア雲母 サファイア (グライゼン)	"
"	"
"	"
石英	
葡萄石	赤城沢 柿平
海緑石	秩父 皆野橋下
" (雲母族)	"
透輝石-クサビ石の接触部	立山 藤橋
	"
	"
透輝石-チタン石	岐阜県 角川
灰鉄輝石	八尾鉱山
灰鉄輝石	奈良県天川村川迫鉱山
"	秩父鉱山
珪灰石	北安曇郡常盤寺崎
"	"

和名	採集地
アルミナ黄長石	広島県比婆郡東城町久代
緑簾石	奈良県布引 南30m
"	" 鷲家
"	" 神野 北250m
ベスブ石	富山県中新川郡立山町藤橋
電気石	遠ヶ根 苗木
"	岐阜県白川村荒谷
コンドロ石	富山県中新川郡立山町藤橋
ザクロ石	八尾鉱山
" (スカルソ)	奈良県吉野郡天川村 洞川 清浄橋
"	埼玉県秩父郡皆野町？崎
マンバンザクロ石	岐阜県揖斐郡春日村
方解石	足尾鉱山
"	秩父鉱山
イネス石orマンガン沸石	伊豆 清越鉱山
銅鉱石	峯の沢鉱山
"	"
"	釜石鉱山
斑銅鉱 黄銅鉱	八尾鉱山
"	"
"	"
方鉛鉱	湯ヶ島
方鉛鉱 閃亜鉛鉱	鹿児島県川辺郡笠砂町野間岬神城鉱山
閃亜鉛鉱	"
磁鉄鉱	マレー産
"	スウェーデン産
"	釜石鉱山
鏡鉄鉱 (赤鉄鉱)	奈良県吉野郡天川村洞川洗浄橋
褐鉄鉱	北海道 蛇田鉱山
黄鉄鉱 黄銅鉱	鹿児島県川辺郡笠砂町野間岬南
	鹿児島県川辺郡笠砂町野間岬神城鉱山
磁硫鉄鉱	秩父鉱山
硫砒鉄鉱	釜石鉱山
層状合銅硫化鉄鉱床	峯の沢鉱山、鮎釣
螢石	
石墨	岐阜県飛騨天生鉱山
"	"
"	"
硫黄	北海道アトサノボリ鉱山
"	箱根 大涌谷
石膏	"
"	"
石棉	秩父 長瀬
珪灰石	宇奈月
石英	岩手県陸前高田市竹駒
"	八幡滝
"	静岡県峯ノ沢鉱山
碧玉？	千葉県 岩井
曹長石	埼玉県小川槻川
藍青石	神奈川県丹沢雪沢上流白石沢
ホルンフェルス中の緑泥石	奈良県吉野郡天川村迫川
ヒスイ輝石？	埼玉県長瀬栗谷瀬橋下
方解石	宇部？産
磷鉱石 (日本鋼管使用)	

和 名	採 集 地
■岩石名不明及びその他	
?	富山県下新川郡内山村字奈月
?	"
?	岐阜県大野郡大野鉱山
豆石	隠岐道後黒滝
珪石	伊豆字久須鉱山（柴山一鉱）
鉱砕	
タイル	国代耐火工業所
ブロック	
軽石	

和 名	採 集 地
泥岩礫	
?	北海道 手稲鉱山
?	"
	静岡県伊豆字久須
鉱砕	高知県安芸市内野原黒元
昇華物	昭和新山
陶土（出石焼の原料）	兵庫県 出石
サバ（焼物の原料）	愛知県 瀬戸 大学鉱山
"（焼物の原料）	"
"（焼物の原料）	"

2) 歴史資料

資 料 名	数量	寄 贈 者（敬称略）
善光寺瓦片	4	伊 藤 き く 子（立町）
刀鐔	24	岡 宮 千 広（南長池）
鬼瓦	1	金 子 英 昭（西町）
「插花柳録」	1	赤 沼 恭 治（穂保）
「豆腐百珍」	1	"
「小学校授本」	2	"
「小学読本」	1	"
「合戦地図本」	1	"
文書（明治25年）	1	"
納税書	20	"
領収書	2	"
軍隊手帖	1	"
新聞（明治25年）	1	"
「万宝図会」	1	上 原 長 治（上松）
「五経字引大成」	1	佐 藤 益 男（穂科）
「康楽寺由来並法定物目録」	1	古 川 良 孝（篠ノ井）

3) 民俗資料

資 料 名	数量	寄 贈 者（敬称略）
裃	1	赤 沼 恭 治（穂保）
単衣着物（四ツ身）	1	塩 沢 み ね（妻科）
袷着物（四ツ身）	1	"
ちゃんちゃんこ	1	"
ぞうり	1	"
下駄	4	"
和ろうそく	3	最 勝 院（元善町）
投網	1	小 林 建 二 郎（真島）
絹糸見本	1	北 信 蚕 業 技 術 指 導 所
蚕体解剖図掛図他	14	"
蚕糸年鑑（昭和27-60年）	33	"
糸布	1	塩 沢 み ね（妻科）

万力	1	若林倉雄（松代）
ふいご	1	湯本元久（問御所）
電報文	1	古川良孝（塩崎）
旗（売り出し用）	1	塩沢みね（妻科）
柱時計	2	宮尾共幸（西長野）
〃	1	赤沼恭治（穂保）
掛時計	1	笠原秀春（篠ノ井）
〃	1	木村幸男（篠ノ井）
伊勢暦	4	佐藤益男（穂保）
〃	1	小林文三（若穂）
略暦	1	宮尾袈裟義（松代）
レコード盤	20	増田きよ（柳原）
レコードケース	2	〃
組本玩具	2	野村三男（松代）
焼香	1	最勝院（元善町）
土人形	3	野村三男（松代）
天神掛軸	1	〃
雛人形（内裏・五人ばやし・身）	3	野村三男（松代）
雛人形	10	金子秀子（箱清水）
押絵雛	3	野村三男（松代）
鯉のぼり	3	〃
のぼり	1	〃
五月節句人形	3	小林政満（稲葉）
花火の筒	1	大塚新町自治会

4) 図 書

書 名	寄 贈 者
長野県埋蔵文化財センター紀要 1	長野県埋蔵文化センター
宿遺跡	東京都北区教育委員会
小田原市郷土文化館研究報告	小田原市郷土文化館
板橋区郷土資料館紀要	板橋区教育委員会
早瀬前遺跡発掘調査報告書	新河岸三丁目早瀬前遺跡調査会
小松市立博物館研究紀要	小松市立博物館
天体位置表	海上保安庁
かがわの木の実	香川県自然科学館
会員館名簿	日本プラネタリウム研究会
プラネタリウム学芸報	千葉市立郷土博物館
地学教育	日本地学教育学会
鉱物(1)	埼玉県立自然史博物館
地衣類(1)	〃
新保遺跡Ⅲ、蛭沢遺跡	群馬県教育委員会
佐田岬半島大洲平野周辺の自然	愛媛県立博物館
境の神風の神	福島県立博物館
年報 第1号	〃
第四紀研究	日本第四紀学会
明治大学考古博物館年報No.3	明治大学考古学博
島崎旦良	町田市立博物館
考古学資料館要覧（古瓦）	国学院大学
〃（第四輯）	〃

書 名	寄 贈 者
東京都の自然	東京都高尾自然科学館
東京都高尾自然科学館研究報告	〃
不思議真珠図鑑	御木本真珠島KK
商人たちの心意気	小山市立博物館
古墳を科学する	奈良国立文化財研究所
房総半島の漁撈用具	千葉県立安房博物館
静岡県駅通御用留明治7年(その2)	郵政省通信博物館
沼津市博物館紀要12	沼津市歴史民俗資料館・明治史料館
研究報告9	岡山県立博物館
調布の伝説	調布市郷土博物館
古川遺跡	静岡県菊川町教育委員会
猿田谷遺跡	〃
石畑遺跡	〃
八雲立つ風土記の丘	島根県立八雲立つ風土記の丘
根ノ上遺跡発掘調査報告	東京都住宅局根ノ上遺跡発掘調査会
府中市郷土の森紀要	東京都府中牛郷土の森
しなの植物夜話	丸山利雄
歴史地震事始	宇佐美龍夫
市原市埋蔵文化財緊急調査報告書	市原市教育委員会
歴博28	国立歴史民俗博物館
日本のあけぼの	埼玉県立博物館
あざみ野遺跡	国学院大学
埼玉県立自然史博物館研究報告	埼玉県立自然史博物館
書上下吉祥寺遺跡	群馬県教育委員会
収藏品目録	福岡市博物館
茨城県立歴史館報	茨城県立歴史館
カイコのいるくらし	群馬県立歴史博物館
自然教育園報告	国立科学博物館
井伊直弼と彦根藩佐野領	佐野市郷土博物館
尼崎の漁業	尼崎市教育委員会
天気VOL.35.No.4	日本気象学会
研究紀要5	群馬県埋蔵文化財調査事業団
市原市近世文書目録I	市原市教育委員会
〃 II	〃
〃 III	〃
新保遺跡(本分編)II	群馬県教育委員会
〃(図版編)II	〃
新保遺跡II付図1-8	〃
地震観測所技術報告第8号	気象庁地震観測所
ふるさと須坂	須坂市教育委員会
信州の書家たち	伊澤和馬
寺崎遺跡群発掘調査報告書	佐倉市寺崎遺跡群調査会
奏野の文化財	神奈川県奏野市
九頭竜川の漁撈	福井県立博物館
福井県立博物館年報	〃
知られざる古墳時代	〃
奥越地方仏教彫刻基礎調査報告	〃
研究紀要	八戸市博物館
年報(第4号昭和61年度)	〃
研究報告	福岡市立歴史資料館
平塚石仏めぐり	平塚市博物館
平塚市博物館所蔵資料目録	〃
自然と文化No.11	〃
化粧具の歴史	大分市歴史資料館
大阪府立泉北考古資料館の概要	大阪府教育委員会

書名	寄贈者
高崎市少年科学館報	高崎市少年科学館
中原悌二郎集	礪山美術館
塩崎遺跡群Ⅴ殿屋敷遺跡	長野市教育委員会
南川向遺跡	"
宮崎遺跡	"
自然を歩く	丸山利雄
ふるさとの年中行事	豊田村教育委員会
博物館学紀要	国学院大学
埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ	一宮町教育委員会
近衛家陽明文庫の名宝	石川県立歴史博物館
祈りの原像	栃木県立博物館
渡良瀬川流域遺跡群発掘調査概報	太田市教育委員会
市内遺跡Ⅲ	"
下宿遺跡E地点	"
西長岡横塚古墳群発掘調査概要	"
北原義一氏資料目録	北海道開拓記念館
北海道開拓記念館研究年報	"
産業Ⅴ	"
北上台地遺跡Ⅱ	北海道北見市
川東羽田遺跡	"
大場美佐の日記	世田谷区教育委員会
世田谷区資料叢書第三卷	"
土師器Ⅱ 附弥生式土器	船橋市郷土資料館
(第48回) 展示資料観覧手びきくらしの道具	"
(第49回) 写真でみる旧八坂村の文化財	"
(第48回) 土師器展船橋周辺の古代	"
船橋市郷土資料館年報(昭和62年度)	"
(第29回) 郷土史料講座講義録	"
(第28回)	"
鉄が語る調布の古代	調布市郷土博物館
太田区立郷土博物館収蔵品目録	太田区立郷土博物館
写された明治の東京	"
写真は語る	板橋区教育委員会
いたばしの文化財(第2集)	"
五段田遺跡の発掘調査(普及版)	"
志村城山	"
板橋区立郷土資料館	板橋区立郷土資料館
中台東谷	中台東谷遺跡調査会
大昔の人びとと資源	東大阪市立郷土博物館
重藤遺跡	国東町教育委員会
多田武一氏寄贈貝類資料目録	萩市郷土博物館
羽田遺跡(A地区)	国東町教育委員会
博物館事業概要	萩市郷土博物館
鳥取県立博物館研究報告	鳥取県立博物館
郷土と博物館第1号	"
" 第2号	"
教育年報	長野県教育委員会
市政概要	長野市
長野市統計書	"
議会概要	長野市議会議員
丸山弁三郎追想録	丸山憲綱
日本地震史料第五巻別館六一	東京大学地震研究所
" 六一二	"
秋田県立博物館研究報告(第13号)	秋田県立博物館
歴史民俗資料館年報(創刊号)	新市町立歴史民俗資料館

書 名	寄 贈 者
富士見市遺跡群VI	埼玉県富士見市教育委員会
富田遺跡第10地点発掘調査報告書	埼玉県富士見市遺跡調査会
勝瀬原遺跡群II	〃
谷津遺跡第7地点	〃
埼玉古墳群発掘調査報告書第6集	埼玉県教育委員会
町田市絵画調査報告書(概報)I	町田市立博物館
物見丸遺跡1988東京都三宅村伊豆	国学院大学文学部考古学研究室
小馬背遺跡木曾郡開田村	〃
町田市の佛像	町田市立博物館
竹ノ花遺跡	塩尻市教育委員会
和手遺跡	〃
山ノ神遺跡	〃
埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書(一般国道20号改築工事)	〃
明治大学学芸員養成課程年報	明治大学学芸員養成課程
倉吉博物館、倉吉歴史民俗資料館	鳥取県倉吉市
絵葉書目録	小樽市博物館
越中の偉人、石黒信由	新湊市教育委員会
改暦辨時計詳説	小田幸子
時計工業の発達	〃
福島県立博物館紀要第2号	福島県立博物館
美人画にみる繊維の手仕事	一宮市博物館
氷見市立博物館年報第6号	氷見市立博物館
糸魚川地区発掘調査報告書IV	新潟県教育委員会
宮本家文書その三	氷見市立博物館
〃 其の四	〃
豊田市郷土資料館収蔵品目録VII	豊田市郷土資料館
近世豊田の俳人	豊田市教育委員会
立山町埋蔵文化財分布調査報告書III	立山町教育委員会
博物館実習報告第3号	お茶の水女子大学学芸員課程
立山カントリークラブ増設工事地内遺跡群発掘調査概要	立山町教育委員会
黒川古文化研究所収蔵品目録第14、第15	黒川古文化研究所
浦田遺跡第2次発掘調査報告書	立山町教育委員会
長野県小諸市鋳物師屋遺跡発掘報告書	小諸市教育委員会
市内神社仏閣秘宝展	八戸市博物館
大阪市立博物館報	大阪市立博物館
研究業績第25号	信州大学教育学部
箱根町立郷土資料館館報第5号	箱根町立郷土資料館
昭和62年度発掘調査報告書	桐生市教育委員会
十六島の農具と漁具	千葉県立大利根博物館
日本の滑稽絵	町田市立博物館
研究紀要第10号	埼玉県立歴史資料館
ヨコハマ・サンデイゴども科学交流報告書	横浜こども科学館
愛媛の自然	愛媛自然科学教室
鳥類所蔵資料目録	苫小牧市博物館
年報	〃
アイヌ民族資料目録	〃
愛媛の自然第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第6号	愛媛自然科学教室
縄文の美は川中居遺跡出土品図録第2集	八戸市博物館
長崎市立博物館々報第28号	長崎市立博物館
宇和島地方の地質と化石	愛媛県立博物館
収蔵資料目録II	埼玉県立歴史資料館
八王子市郷土資料館収蔵古文書目録	八王子市郷土資料館
八王子千人同心関係資料集第1集	八王子市教育委員会
郷土の歴史上田城	上田市立博物館
柏原市遺跡群発掘調査概報II	柏原市教育委員会

書名	寄贈者
柏原市埋蔵文化財発掘調査概報	"
玉手山1号墳範囲確認調査概報	"
柏原市所在遺跡発掘調査概報	"
柏原市遺跡群発掘調査概報	"
要覧1988	神奈川大学日本常民文化研究所
信州書芸展図録	信州書芸会
明治大学考古学博物館蔵品図録	明治大学考古博物館
群馬県立歴史博物館年報	群馬県立歴史博物館
根室市博物館開設準備室紀要	根室市博物館開設準備室
創立20周年記念誌	長野市篠ノ井東中学校
埼玉文化史研究 9	埼玉文化史研究会
大宮の郷土史 第9号	大宮郷土史研究会
" 第10号	"
" 第11号	"
埼玉文化史研究 14	埼玉文化史研究会
世界の古時計	松本市立博物館
北海道開拓記念館調査報告	北海道開拓記念館
離島社会の歴史と文化	"
東北歴史資料館年報	東北歴史資料館
山形の民俗	北海道開拓記念館
研究調査報告書第15集	浦和市立郷土博物館
日田地区遺跡群発掘調査概報Ⅲ	日田市教育委員会
館報 自然史部門 第20号	日田市立博物館
日田文化 30	日田市教育委員会
千葉県立房総のむら年報2	千葉県立房総のむら
千葉県立房総風土記の丘年報Ⅱ	千葉県立房総風土記の丘
多摩の古代中世多摩川流域とその周辺	町田市立博物館
西山遺跡発掘調査報告書	栃木県小山市教育委員会
飯塚古墳群発掘調査概報1	"
明治大学刑事博物館年報19	明治大学刑事博物館
明治大学刑事博物館資料第10集	"
明治大学刑事博物館目録第53集	"
前田遺跡県営園場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	荏崎市教育委員会
松代真田の歴史と文化	松代藩文化施設管理事務所
感想集	松本市立考古博物館
半田市立博物館年報	半田市立博物館
瑞浪市化石博物館研究報告	瑞浪市化石博物館
神奈川自然誌資料	神奈川県立博物館
研究報告自然科学17号	"
長岡市立科学博物館研究報告第23号	長岡市立科学博物館
国立歴史民俗博物館研究報告第16集	国立歴史民族博物館
" 第17集	"
" 第18集	"
時計とこよみ ときをはかる 月日を知る	石巻文化センター
山口県の自然第5巻第8号 (No.48)	山口県立山口博物館
館報Ⅱ	"
山口県立山口博物館研究報告第14号	"
相模原の製糸業	相模原市教育委員会
埋蔵文化財発掘調査概報集	"
相模原の畑作	"
相模原市植物目録(1)	"
相模原市の都市化	"
相模原市村落景観調査報告 当麻	"
相模原の動物	"
相模原の植生	"

書 名	寄 贈 者
所沢の教育	所沢市教育委員会
西沢今朝夷画集	西沢今朝夷
岐阜県博物館調査研究報告	岐阜県博物館
研究紀要 昭和62年度	宮崎県総合博物館
宮崎県総合博物館年報	〃
さきたま古墳群と北武蔵の農具	埼玉県立さきたま資料館
資料館報No18	〃
中部未来博88記念展中山道美濃16宿	岐阜県博物館
MUSEE MARIE LAURENCIN	マリー・ローランサン美術館
古代史復元 縄文人の生活と文化	講談社
府中市郷土の森年報	府中市郷土の森事業団
調査研究報告第1号	埼玉県立さきたま資料館
埼玉古墳群発掘調査報告書第6集	埼玉県教育委員会
西宮市立郷土資料館報昭和62年度	西宮市教育文化センター
江戸時代の流通路	福島県立博物館
八幡山遺跡II	世田谷区教育委員会
王子田楽総合調査報告書	東京都北区教育委員会
農村生活文化便覧	全国農協観光協会
日本の帰化動物	神奈川県立博物館
鼎28歳山本鼎尋常茶飯録	上田市山本鼎記念館
下北沢世田谷区民俗調査第8次報告書	世田谷区教育委員会
静岡清水平野の弥生時代	静岡市立登呂博物館
静岡県博物館協会研究紀要第11号	静岡県博物館協会
堂ヶ谷戸遺跡III	世田谷区教育委員会
廻沢北遺跡II	〃
世田谷区遺跡調査報告1986年度年報	〃
若一王子縁起絵巻	東京都北区教育委員会
文化財研究紀要第2集	〃
勝保沢中ノ山遺跡1	群馬県教育委員会
上野国分寺僧寺尼寺中間地域本文編	〃
〃 写真図版編	〃
〃 図表編	〃
〃 (2)	〃
鳥羽遺跡本文編	〃
〃 図版編	〃
丹後国一宮龍神社の秘宝	京都府立丹後郷土資料館
風景画の黎明	長野県信濃美術館
塩崎の石造文化財	塩崎文化財保存会
馬の郷土玩具	馬の博物館
市道105号線改良工事地内遺跡発掘調査報告書	佐野市教育委員会
沼津の国学	沼津市明治史料館
大地に刻まれた山形の歴史	山形県立博物館
相模川流域の弥生時代	平塚市博物館
山形県立博物館展示資料目録	山形県立博物館
山形県立博物館研究報告	〃
青梅市の社寺建築	青梅市教育委員会
上杉謙信と春日山城	花ヶ前盛明
中世越後の歴史	〃
広島市における木履の製造と民俗	広島市教育委員会
武田信玄	三浦一郎
深沢遺跡前田原遺跡	群馬県教育委員会
奈良県立民俗博物館大和民俗公園年報	奈良県立民俗博物館
古代人のこころと祈り	上田市立信濃国分寺資料館
群馬県立歴史博物館所蔵資料目録	群馬県立歴史博物館
東番場遺跡	長野市教育委員会

書名	寄贈者
〃	〃
小柴見遺跡	〃
〃	〃
浅川端遺跡	〃
〃	〃
町田川遺跡	〃
〃	〃
地附山古墳群	〃
〃	〃
木下清遺作写真集	アイヌ民族博物館
信州更級郡川中島中氷鉋青木家文書目録	東京教育大学農村資料研究会
十日町市の遺跡	十日町市博物館
近世土浦の名宝展	土浦市立博物館
土浦市立博物館年報	〃
名古屋市博物館年報	名古屋市博物館
研究紀要	〃
月刊文化財発掘出土情報(2)	月刊文化財発掘出土情報編集部
〃(8)	〃
北欧・トナカイ遊牧民の工芸	北海道開拓記念館
遺跡でみるむかしむかしの榛原	榛原町教育委員会
岐阜市歴史博物館年報No.2	岐阜市歴史博物館
研究紀要2	〃
岐阜市洞松井家文書目録	〃
中国陝西省宝鸡市周原文物展	〃
考古資料(2)鳥谷、大芝原	沼津市歴史民俗資料館
考古資料(1)柳沢、伊良宇禰	〃
駿河国とその周辺	〃
川崎浮世絵展	川崎市立産業文化会館
仙台市科学館時報第20号	仙台市科学館
群馬県立歴史博物館紀要第9号	群馬県立歴史博物館
西尾遺跡A地点	佐賀県伊万里市教育委員会
金石原窯 辻窯跡焼山上窯跡	〃
石川県立歴史博物館紀要	石川県立歴史博物館
一向一揆	〃
飛鳥、藤原宮発掘調査概報18	奈良国立文化財研究所
中野市埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	中野市教育委員会
昭和62年度館報	秋田県立博物館
郷土資料館第3回特別展道旅宿場	西宮市立郷土資料館
歴博	国立歴史民俗博物館
小山市立博物館報第5号昭和62年度版	小山市立博物館
北上川流域の自然と文化シリーズ(10)日高見のまつり	北上市立博物館
北上、和賀地方の山菜	〃
経済連情報	長野県経済連
津山郷土博物館	津山郷土博物館
博物館概要	館山市立博物館
長野県小諸市中原遺跡発掘調査報告書	小諸市教育委員会
石川日記(10)	八王子教育委員会
八王子市郷土資料館年報	八王子市郷土資料館
昭和61年度市立市川考古博物館年報	市立市川考古博物館
上台貝塚	〃
市川の縄文土器Ⅱ収蔵の後晩期土器	〃
古代の船	福岡市立歴史資料館
石川県の文化財―美術工芸品編―	石川県立美術館
石川県立美術館優品図録	〃

書名	寄贈者
徳島県立博物館開設準備調査報告書第1号	徳島県企画調整部文化の森事務局
〃 第2号	〃
読谷村立歴史民俗資料館紀要(11号)	沖縄県読谷村歴史民俗資料館
〃 〃 (12号)	〃
大崎貝塚・東金野井貝塚立ち合い発掘調査報告書	野田市教育委員会
野田と下総牧—江戸から明治へ—	〃
稲作における農機具・生活資材の発達史1	岩手県立農業博物館
森前遺跡・森前外屋敷遺跡発掘調査報告書	静岡県菊川町教育委員会
殿ヶ谷遺跡発掘調査報告書	〃
豆尻11遺跡発掘調査報告書	〃
東横地西原遺跡発掘調査報告書	〃
1988年9月9日18h20m火球落下に関する調査報告書	市立八ヶ岳南麓天文台
昭和62年度岩手県立博物館年報	岩手県立博物館
骨でつくった道具	信濃町立野尻湖博物館
釧路市立博物館々報No.301	釧路市立博物館
〃 No.302	〃
〃 No.303	〃
〃 No.304	〃
〃 No.305	〃
〃 No.306	〃
〃 No.307	〃
〃 No.309	〃
〃 No.310	〃
〃 No.331	〃
〃 No.312	〃
昭和62年度和歌山市立博物館館報	和歌山市立博物館
和歌山市立博物館研究紀要3	〃
下野と近世大名	栃木県立博物館
特別展神刺丹波・丹後—その歴史と美術—	京都府立丹後郷土資料館
絵画展祈りとかたち	調布市郷土博物館
丸山遺跡発掘調査報告書	大潟町教育委員会
法本義弘想ひ出の写真集	法本義弘を偲ぶ会
東国のはにわ	福島県立博物館
上田と大正の文化	上田市立博物館
特別展馬	府中市郷土の森博物館
博物館の概要	福井県立博物館
三国町の教育史	三国町郷土資料館
田中正造と足尾鉾毒	佐野市郷土博物館
那須文書	栃木県立博物館
鷹狩り—歴史と美術—	太田区立郷土博物館
興福院と養の河原	箱根町立郷土資料館
王賜銘鉄剣(概報)	市原市教育委員会
古代の女性	風土記の丘
戦国時代の紀州雑貨	和歌山県立博物館
陶磁—和光コレクション展—	柏崎市立博物館
柏崎の漆工	〃
北への視角	北海道開拓記念館
五十嵐立和展	水見市立歴史博物館
うつわの文化漆	石川県立歴史博物館
民具実測図の方法1—農具—	神奈川大学日本常民文化研究所
日本陶磁絵巻やきものに刻まれた絵画	愛知県陶磁資料館
出土鉄製遺物の実態調査報告書近畿・中部地方	勅元興寺文化財研究所
〃 九州・中国・四国地方	〃
〃 関東・東北・北海道地方	〃
〃 近畿・中国・四国・九州	〃

書 名	寄 贈 者
〃 北海道・東北・関東・中部地方	〃
福岡市埋蔵文化財センター年報（第7号）	福岡市埋蔵文化財センター
瀬戸内に生きる	岡山県立博物館
歴博31	国立歴史民俗博物館
川口川流域の歴史と文化	八王子市郷土資料館
八戸藩刀工の系譜	八戸市博物館
国分寺歴史と再現	大分市歴史資料館
開館20周年記念特別講座講演集	千葉市立加曽利貝塚博物館
貝塚博物館紀要第13号	〃
激動に生きた代官の妻	世田谷区立郷土資料館
東北の版画	石巻文化センター
小松の文化財	小松市立博物館
自然の宝庫－雑木林	飯田市美術博物館
北海道開拓の村	北海道開拓の村
前方後円墳の時代	栃木県教育委員会
古代下野国の歴史	しもつけ風土記の丘資料館
88要覧	北海道開拓の村
要覧	しもつけ風土記の丘資料館
一宮の文化財	宝飯郡一宮町教育委員会
古代東国の王者	群馬県立歴史博物館
さいたまの円空	埼玉県立博物館
近江出土の施釉陶器、実測図集成II	近江風土記の丘資料館
謎の湖底遺跡を探る	〃
田端遺跡（第2分冊）	群馬県教育委員会
〃（第3分冊）	〃
〃（第4分冊）	〃
〃（第5分冊）	〃
〃（第1分冊）	〃
東洋の古陶磁展	柏原市教育委員会
福井市立郷土歴史博物館館報	福井市立郷土歴史博物館
川崎市青少年科学館年報	川崎市教育委員会
町田の仏像	町田市立博物館
聖徳太子の世界	飛鳥資料館
川崎市自然環境調査報告Ⅰ	川崎市教育委員会
山に生きた人びと	大阪市立博物館
尼崎の絵馬	尼崎市教育委員会
尼崎市中ノ田遺跡Ⅱ	〃
高崎市少年科学館報	高崎市少年科学館
88要覧	北海道開拓記念館
平岡環境科学研究所報告	平岡環境科学研究所
年報第2号	高岡市立博物館
研究紀要	彦根城博物館
彦根城博物館年報昭和62年度	〃
井伊家伝来の名宝	〃
井伊伝来の能面・能装束	〃
彦根城博物館歴史展示ガイドブック	〃
刀剣と刀装の美	〃
大名茶その世界	〃
紀要	埼玉県立博物館
さいたまの円空	〃
埼玉県立博物館要覧	〃
古代の装身具	山梨県立考古博物館
呑山（杉山六江）・他石（贅川邦作）展	三島市教育委員会
川崎の考古	川崎市市民ミュージアム
川崎の民俗	〃

書 名	寄 贈 者
歴博33	国立歴史民俗博物館
秋岡コレクション日本の古地図	"
中世の日記	"
横須賀市博物館研究報告(自然科学)第1号～第35号(計35冊)	横須賀市博物館
横須賀市博物館研究報告(人文科学)第14～第31号(計31冊)	"
横須賀市博物館館報No.22～No.35(計14冊)	"
横須賀市博物館館報No.2～No.21(計19冊)	"
横須賀市博物館資料集第1号～第12号(計12冊)	"
横須賀市博物館研究報告(人文科学)第3号～第13号	"
考古資料図録Ⅰ	横須賀市人文博物館
考古資料図録Ⅱ	"
考古資料図録Ⅲ	"
明治大学考古学博物館館報No.4	明治大学考古学博物館
本郷山根遺跡	群馬県埋蔵文化財調査事業団
アイヌ民族博物館研究報告第二号	アイヌ民族博物館
長門国分寺・国府周辺遺跡発掘調査報告書	下関教育委員会
発掘成果速報	京都市府立山城郷土資料館
ふるさとの職人	"
西宮の歴史	西宮市教育委員会
岐阜県資料館研究紀要1	岐阜県可見市豊蔵資料館
浜松市博物館館報1	浜松市博物館
房総半島の漁館撈用具第2集	千葉県立安房博物館
水辺の会	長野県水辺環境保全研究会
都田地区発掘調査報告書上巻 写真図版編	浜松市教育委員会
" 下巻 本文編	"

3 寄託資料

資 料 名	数量	寄 託 者 (敬 称 略)
新町組書類品々文庫	1箱	大塚新町組
大文字の旗	1	大日方英雄(小川村)
毘沙門像	1	"
不動明王像	1	"
川中島戦争図	1	"
甲州武田家分限録	1	"
諸国古城信濃城々並備立図	72	"
牧ノ島城古城図	2	"
諸城図	9	"
武田信玄感状	1	"
武田信玄直筆画像	1	"
軍扇	1	"

4 製作資料

日時計の設置

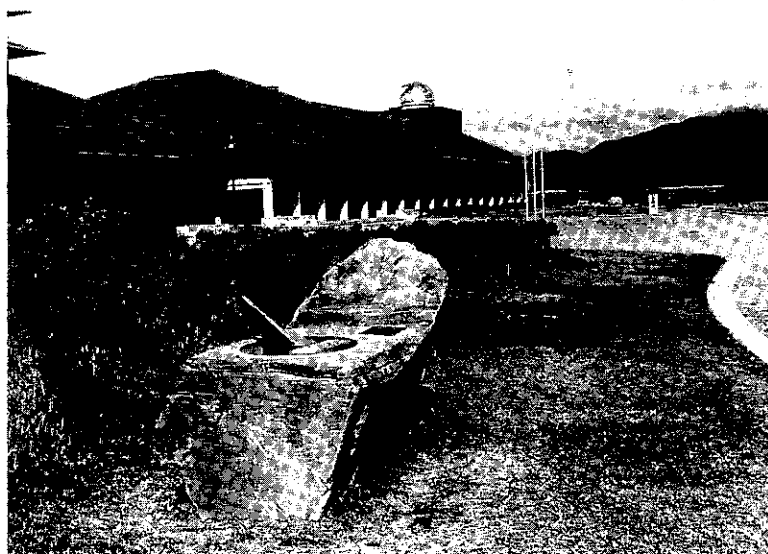
第20回企画展「時と太陽の物語」を記念して、人類最古の時計である日時計を当館前庭に設置した。設置に当っては、その外見を良いものにするだけでなく、正確な時刻を知ることができるということを最大の目標にした。そのためには次の条件を満たすことが必要である。

- ①設置場所の緯度・経度に合せた正確な設計をすること。
- ②その設計通り正確に製作すること。
- ③台石を含めて正確に設置すること。例えば、台石の基礎をしっかり造り、日時計の盤を子午線に沿って正確に合せ、かつ水平に設置すること。

当館は、子午線決定に北極星から天の北極を導き出す（関舜衛氏実施）などして、±1分の精度で時刻を知ることができる日時計の設置に成功した。これも、設計者の関舜衛氏や本体製作の例第一ネームプレート工業社、そして台石設置の龍堀石材店の御指導・御協力によるものである。

日時計の概要

- 種類 水平式日時計
- 文字盤の直径 60cm
- 目盛り 5分刻み
- 台石 安山岩（長野市松代町東条産）
高さ70cm 長さ1.9m幅1m
通称“船石”重さ3.8t
- 設計者 関 舜衛氏（日本天文学会会員）
（長野県上伊那郡高遠町在住）
- 設置日 昭和63年8月19日
- 設置場所 長野市立博物館1号館前庭
東経138° 11' 29" ・北緯36° 35' 17" ・海拔350m ・偏角6° 54' w



博物館前庭の日時計

IV 博物館管理運営

1 昭和63年歳出予算概要

(単位：千円)

節	内 訳	予算額	一 般 的 経 常 費			施 策 的 経 常 費						投 資 的 経 費
			人件費	施設管理費	車両管理費	時と場所の経費	川島の合戦	生活用具	海の貝	プラネタリウム	各種事業	
(1)報 酬		1,966		1,966								
(2)給 料		22,317	22,317									
(3)職 員 手 当		13,021	12,616			120	135			150		
(4)共 済 費		6,283	4,573	1,710								
(7)賃 金		14,277		12,809		363	587		56	0	462	
(8)報 償 費		1,310		130		360	490		100	0	230	
(9)旅 費		914		355		200	283		20	36	20	
(10)需 用 費		32,258		28,420	315	890	1,170	350	275	130	708	
(消 耗 品 費)		(3,114)		(2,367)	(97)	(100)	(200)	(30)	(20)	(100)	(200)	
(燃 料 費)		(3,386)		(3,249)	(137)					0	0	
(食 糧 費)		(117)		(72)	0	(10)	(20)		(5)	0	(10)	
(印 刷 製 本 費)		(6,088)		(3,260)	0	(780)	(950)	(320)	(250)	(30)	(498)	
(光 熱 水 費)		(18,012)		(18,012)	0							
(修 繕 料)		(1,531)		(1,450)	(81)							
(医 療 材 料 費)		(10)		(10)	0							
(12)役 務 費		7,747		5,637		410	1,650	0	50	0	0	
(13)委 託 料		19,247		16,537		840	650	60	200	960	0	
(14)使用料及び賃借料		1,221		821		180	200			0	20	
(15)工 事 請 負 費		6,480		280		200	200					5,800
(16)原 材 料 費		220		0		100	100		20			
(18)備 品 購 入 費		3,110		1,900		100	150				60	900
(19)負担金及び交付金		72		72								
(20)公 課 費		9			9							
計		130,452	39,506	70,637	324	3,763	5,615	410	721	1,276	1,500	6,700

各種事業……教室・講座・収蔵資料整理・調査研究

2 管理業務（役務費・委託料）

(単位：千円)

名 称	金 額
自家用電気保安点検	397.8
エレベーター保守点検	588.0
警備業務（本館）	420.0
〃（分館）	192.0
プラネタリウム保守点検	800.0
ターボン冷凍機保守点検	550.0
展示模型映像機器保守点検	480.0
空調設備自動制御保守点検	900.0
消防用設備点検（分館）	69.0

名 称	金 額
し尿浄化槽法定検査	10.0
空調設備等管理	5,700.0
し尿浄化槽管理	600.0
清掃業務（本館）	6,050.0
〃（分館）	1,195.0
庭園管理	440.0
くん蒸業務	1,200.0
空調機器（冷暖房）（分館）	72.0
合 計	19,663.8

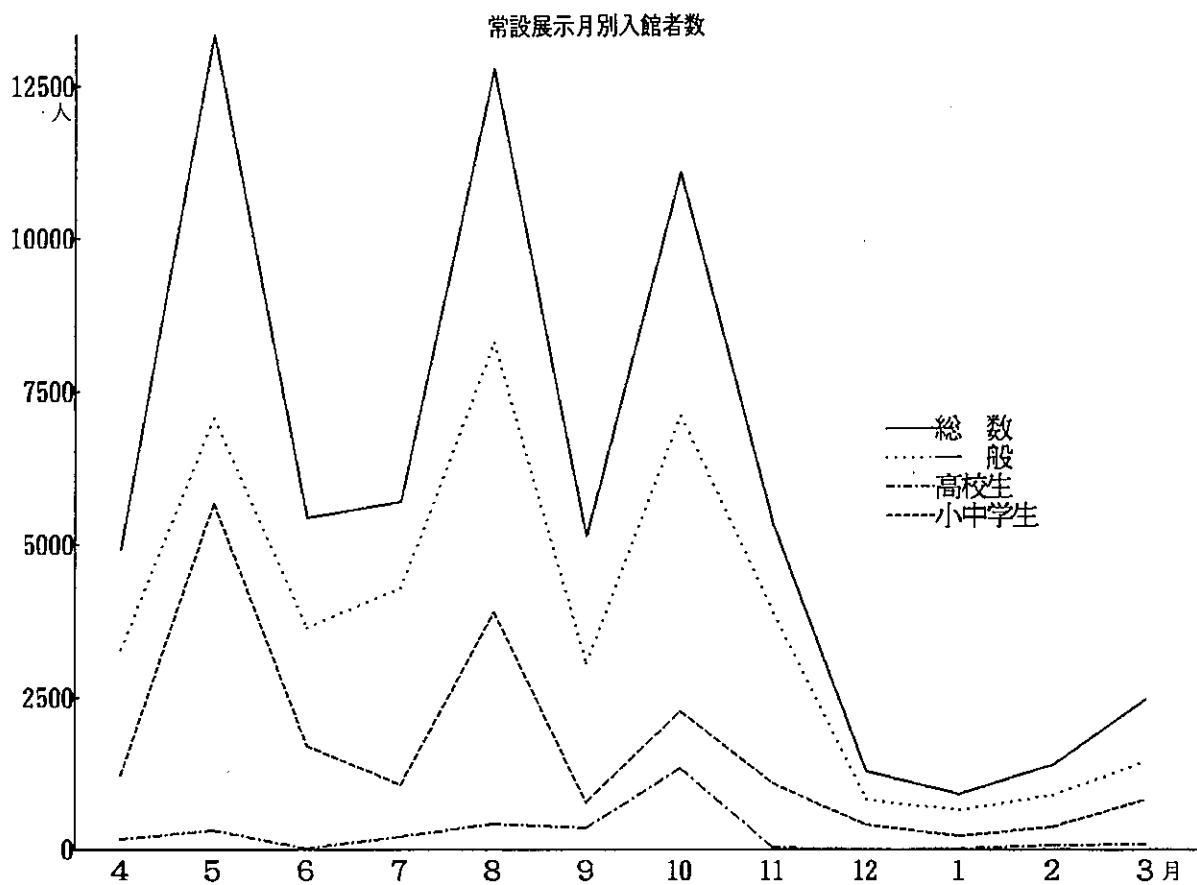
3 入館者状況

(昭和63年4月～平成元年3月)

1) 博物館常設展示

常設展示月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			視察等	総合計	開館 日数	一日 平均
	一 般	高 校 生	小中学生	一 般	高 校 生	小中学生	一 般	高 校 生	小中学生				
4	2,418	82	796	871	105	438	3,289	187	1,234	223	4,933	25	197
5	4,882	247	1,826	2,205	84	3,862	7,087	331	5,688	238	13,344	26	513
6	1,632	25	390	1,998	1	1,316	3,630	26	1,706	79	5,441	26	209
7	2,371	85	646	1,908	135	431	4,279	220	1,077	123	5,699	27	211
8	6,481	430	3,116	1,826	0	780	8,307	430	3,896	148	12,781	26	492
9	1,743	47	475	1,305	310	300	3,048	357	775	968	5,148	24	215
10	3,762	39	983	3,353	1,302	1,283	7,115	1,341	2,266	365	11,087	26	426
11	2,218	12	406	1,675	37	691	3,893	49	1,097	291	5,330	24	222
12	635	14	124	205	0	285	840	14	409	23	1,286	24	54
1	650	31	238	0	0	0	650	31	238	4	923	18	51
2	861	79	215	42	0	167	903	79	382	29	1,393	23	61
3	1,272	94	693	168	0	145	1,440	96	838	80	2,452	26	94
計	28,925	1,185	9,908	15,556	1,974	9,698	44,481	3,159	19,606	2,571	69,817	295	237

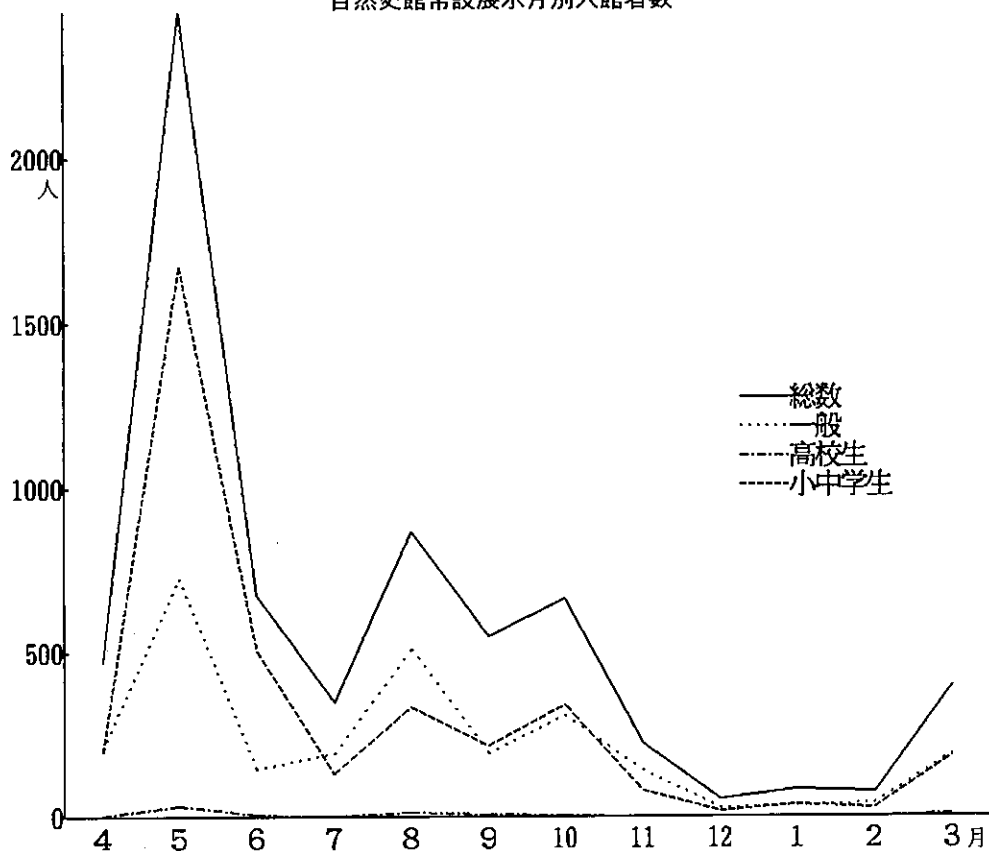


2) 自然史館常設展示

常設展示月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			視察等	總合計	開館 日数	一日 平均
	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生				
4	211	5	200	0	0	0	211	5	200	56	472	25	19
5	725	34	515	0	0	1,159	725	34	1,674	13	2,446	26	94
6	144	7	80	0	0	424	144	7	504	20	675	25	27
7	175	3	112	18	0	20	193	3	132	20	348	27	13
8	462	13	315	51	0	17	513	13	332	11	869	26	33
9	172	3	83	22	5	133	194	8	216	128	546	24	23
10	308	4	197	0	0	141	308	4	338	11	661	26	25
11	142	0	78	0	0	0	142	0	78	4	224	24	9
12	26	0	17	0	0	0	26	0	17	9	52	24	2
1	33	0	38	0	0	0	33	0	38	13	84	24	4
2	42	2	26	0	0	0	42	2	26	7	77	23	3
3	189	7	183	0	0	0	189	7	183	18	397	26	15
計	2,629	78	1,844	91	5	1,894	2,720	83	3,738	310	6,851	300	23

自然史館常設展示月別入館者数

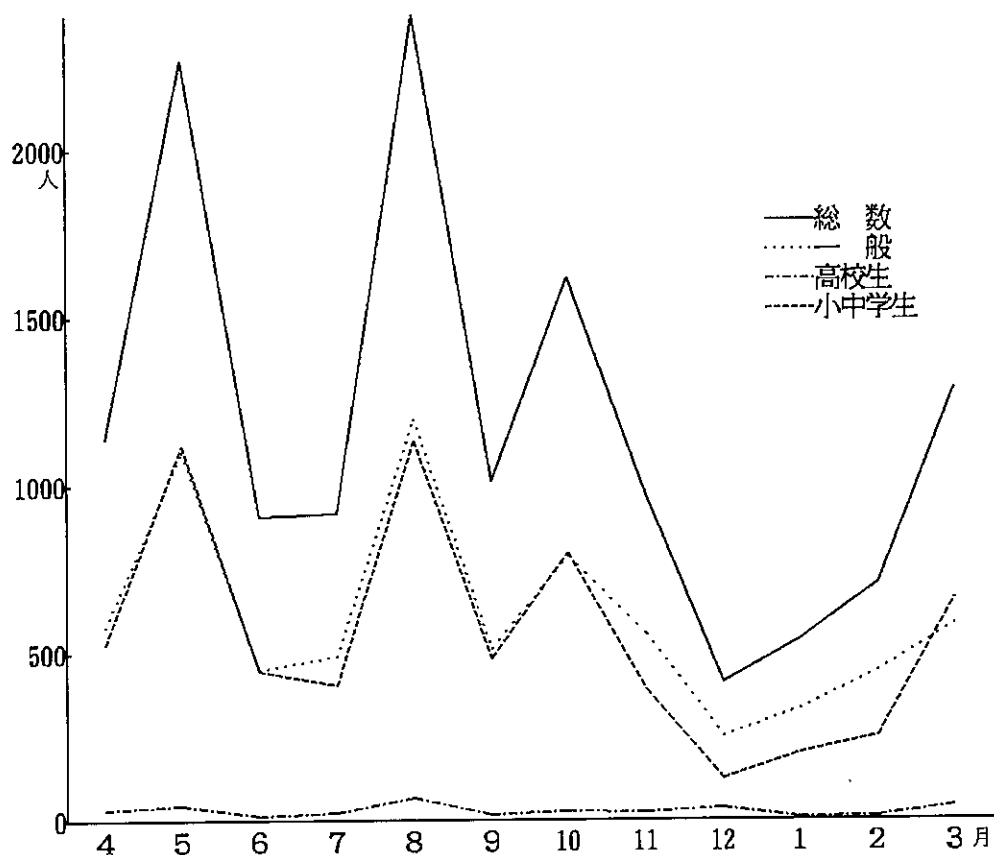


3) プラネタリウム

プラネタリウム月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			総合計	実施 回数	一日 平均
	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生			
4	578	32	529	0	0	0	578	32	529	1,139	35	33
5	902	46	800	200	0	322	1,102	46	1,122	2,270	47	48
6	336	14	283	111	1	163	447	15	446	908	29	31
7	457	23	355	34	0	49	491	23	404	918	35	26
8	1,198	69	1,135	0	0	0	1,198	69	1,135	2,402	65	37
9	512	16	484	0	0	0	512	16	484	1,012	32	32
10	768	28	686	23	0	113	791	28	799	1,618	41	40
11	501	23	347	57	0	44	558	23	391	972	35	28
12	246	15	122	5	22	0	251	37	122	410	27	15
1	330	9	198	0	0	0	330	9	198	537	25	21
2	442	11	249	0	0	0	442	11	249	702	30	23
3	564	44	642	19	0	19	583	44	661	1,288	46	28
計	6,834	330	5,830	449	23	710	7,283	353	6,540	14,176	447	32

プラネタリウム月別入館者数



4) 企画展示

(1) 第19回企画展「節供人形とおもちゃ」

昭和63年4月17日～6月12日

開催日数	入館者計	1日平均
48日	18,898人	394人

(2) 第20回企画展「時と太陽の物語」

昭和63年7月3日～8月28日

開催日数	入館者計	1日平均
49日	17,661人	360人

(3) 第21回企画展「信玄と謙信」

昭和63年10月2日～11月23日

開催日数	入館者計	1日平均
44日	15,695人	357人

(4) 第22回特別展「生活用具」

平成元年2月26日～5月21日

開催日数	入館者計	1日平均
72日	13,680人	190人

(5) 自然史館第3回企画展「長野市西部山地の海の貝」

昭和63年4月29日～11月23日

開催日数	入館者計	1日平均
17.2日	5,757人	33人

4 利用状況

1) 資料の館外貸出

貸出番号	貸 出 先	資 料 名	点数
63-1	栃木県立博物館	タカラ貝形土製品（旭町遺跡）	1点
2	サンケイ新聞社	「川中島の戦い」マルチスライドフィルム	90点
3	〃	〃 〃 音声テープ	2点
4	大豆島小学校	縄文中期土器片（安庭遺跡）	10点
5	上田市立信濃国分寺資料館	人形・水鳥（長礼山2号古墳）	2点
6	〃	甕・器台・石製模造品（駒沢新町遺跡）	5点
7	〃	銅銚・石製模造銚（松節遺跡）	2点
8	〃	駒沢新町遺跡甕・器台ほかの紙焼き	5点
9	長野県信濃美術館	姨捨山十三景絵図ほか絵図類	4点
10	〃	姨捨山十三景絵図ほかの紙焼き	4点
11	府中市博物館	ワラ馬	6点
12	〃	ワラ馬スライドフィルム	6点
13	愛知県陶磁資料館・五島美術館	甕・器台（駒沢新町遺跡）	2点
14	週刊長野新聞社	竪穴住居・稲作のムラジオラマなどスライドフィルム	4点
15	野尻湖博物館	四ツ屋・大清水遺跡の獣骨・骨角器	16点
16	サンケイ新聞社	「川中島の戦い」マルチスライドフィルム	90点
17	〃	〃 〃 音声テープ	2点
18	長野市立裾花中学校2年1組	丹波島写真紙焼き	24点
19	長野県史刊行会	地籍図	1点
20	清泉女学院高等学校	半切れ桶	1点

2) 資料等の特別利用

利用番号	申 請 者 名	利 用 資 料 名	点数	利用の方法	利用月日
36-1	長野放送	伊勢宮遺跡木棺墓一括土器	10	ビデオ撮影	4月6日
2	〃	常設展弥生時代ジオラマ	1	〃	〃
3	真田町役場	建物		写真撮影	4月12日
4	南長野新聞	企画展展示		〃	4月21日
5	長野県経済事業農業協同組合連合会	農具	12	〃 ・掲載	5月9日
6	長野市企画調整部	伝川柳將軍塚古墳出土品	1	〃	5月13日
7	学習研究者	旭町遺跡、宝贝形土製品	1	〃 ・掲載	5月28日
8	講談社	伊勢宮遺跡木棺墓一括土器	10	写真掲載	5月27日
9	日本雪だるまの会	企画展展示物（節供人形）など	13	〃	6月24日
10	伊藤教夫（南高校）	弥生時代住居		写真撮影	7月13日
11	両角由佳（長野市）	常設展示		〃	8月5日
12	塚田新（名古屋市）	エントランスホール		〃	8月16日
13	長野県史刊行会	掛け時計紙焼き	1	写真掲載	8月23日

14	鈴木愛子（刈谷市）	常設展示		写真撮影	8月31日
15	高畑昌子（長野市）	土器		スケッチ	9月29日・10月4日
16	篠原正明（ 〃 ）	〃		〃	〃
17	田中治男（大岡村）	芦ノ尻道祖神	1	写真撮影	10月5日
18	徳嵩雄司（長野市）	機織機ほか		〃 ・ 掲載	10月16日
19	高橋敬造（鬼無里村）	弥生時代住居	1	〃	11月10日
20	丸山睦（上福岡市）	建物		〃	〃
21	長野県史刊行会	企画展「信玄と謙信」展示資料		〃	11月22日
22	鈴木義郷	〃		〃	〃
23	松代高校	〃		〃	〃
24	碧水社	「稲作のムラ」ジオラマ		写真複写・掲載	12月10日
25	田上昇（毎日新聞）	田中沖遺跡土器		写真撮影・取材	12月27日
26	丸山佳子（長野市）	常設展仕事着	1	〃	1月21日
27	斉藤武雄（中野市）	桐原のワラウマ及び部分品紙焼き		写真掲載	1月19日
28	長野県史刊行会	紙すきの道具	1	写真撮影・掲載	2月1日
29	青野紘（東京）	西町屋台	1	〃	2月4日
30	長野県史刊行会	商業・金融関係資料		熟覧・写真撮影	2月22日
31	新村清比古（上田市）	館内情景		写真撮影・取材	3月7日
32	安茂里史刊行会	獣形鏡・弥生土器	8	〃 ・ 掲載	3月23日

V 彙 報

1 長野市立博物館協議会

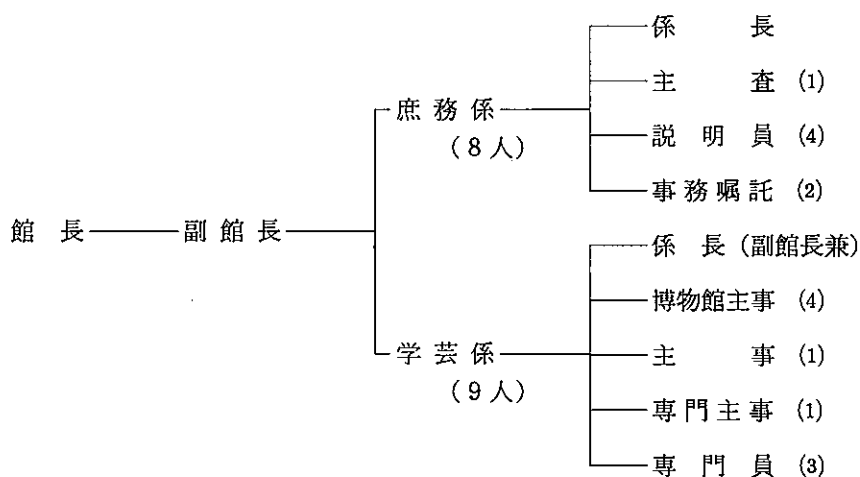
協議会委員

（任期 昭和63年9月25日まで）

職 名	氏 名	役 職	選 出 区 分
会 長	花 岡 直 一	元長野市教育長	学校教育（歴史）
副会長	小出ふみ子	長野市文化芸術協議会副会長	社会教育（文芸）
委 員	浅 川 欽 一	長野市文化財保護審議会委員	学識経験（民俗）
〃	倉 田 稔	長野市後町小学校長	学校教育（動植物）
〃	小林計一郎	長野郷土史研究会会長	社会教育（地方史）
〃	瀬 戸 仁	信州大学教育学部教授	学校教育（国語教育）
〃	島 垣	信州大学工学部教授	〃 （地震）
〃	中 島 正 美	元長野県教育次長	学識経験
〃	矢 沢 頼 忠	松代藩文化施設管理事務所々長	社会教育
〃	米 山 一 政	長野市文化財保護審議会々長	学識経験（歴史）

2 組 織

1) 組織図



2) 職 員 (19人)

館長	掛川 一夫
副館長	斎藤 富雄
庶務係長	佐野 孝康
主査	石坂 きよ
説明員	清水 正志
〃	藪崎 巖
〃	高野 祥子
〃	海野 夏子
事務	坂口 昭三 (自然史館)
〃	両角 和子 (〃)
学芸係長	(斎藤 富雄)
博物館主事	山口 明 (学芸員、考古)
〃	大蔵 満 (〃 、自然)
〃	安室 知 (〃 、民俗)
〃	唐沢 茂 (〃 、自然史館)
主事	中島 龍吾
専門主事	塩入 清嗣 (自然、自然史館)
専門員	藤森 治幸 (学芸員、歴史)
	和田 博 (歴史)
	井堀 五郎

(昭和63年4月1日現在)

年 報 VOL. 7

—昭和63年4月～平成元年3月—

発行 平成2年3月31日

編集 長野市立博物館
発行

長野市小島田町八幡原史跡公園内

☎ 0262 (84) 9 0 1 1

印刷 西沢印刷株式会社
